

教科名： デッサン（実習）		前期	教科担任： 長谷川 雅則（実務経験教員）		
学科名：ファッション・プロモート科 建築科(合同)		コース：	1年	単位数： 2単位	
授業のねらい	工芸作家での実務経験を活かし、デッサンを通して立体の把握、プロポーション比例の仕組みを目で感じ取り、手で表現することを指導する。また、立体造形では粘土を用いてモチーフを自分なりのオリジナリティーあふれる表現をする。			前期	2H×15W=30H
				後期	2H×15W=30H
				合計	60H
目指す検定・資格	目標 デザイン力 取得可能な検定			教材費	4500円
テキスト・教材	スケッチブック 鉛筆 練り消しゴム 絵の具道具				
評価方法	前期：課題 出席状況 学習態度等を総合して評価する			その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	デッサン	身近なものをスケッチする。		紙と鉛筆になれる	2
2	デッサン	円筒形(石膏)を描く		紙の真中に納める	2
3	デッサン	円錐形(石膏)を描く		縦.横.奥行のバランス	2
4	デッサン	クララ像(石膏)を描く		縦.横.奥行のバランス	2
5	デッサン	アグリッパ像(石膏)を描く 半面		縦.横.奥行のバランス 陰影のグラデーション	2
6	デッサン	アグリッパ像(石膏)を描く 半面		縦.横.奥行のバランス 陰影のグラデーション	2
7	デッサン	アグリッパ像(石膏)を描く 半面		縦.横.奥行のバランス 陰影のグラデーション	2
8	デッサン	アグリッパ像(石膏)を描く 半面		縦.横.奥行のバランス 陰影のグラデーション	2
9	デッサン	アグリッパ像(石膏)を描く 半面		縦.横.奥行のバランス 陰影のグラデーション	2
10	デッサン	自画像を描く		縦.横.奥行のバランス 陰影のグラデーション	2
11	デッサン	自画像を描く		縦.横.奥行のバランス 陰影のグラデーション	2
12	デッサン	自画像を描く		縦.横.奥行のバランス 陰影のグラデーション	2
13	デッサン	人体クロッキーを描く		体のプロポーション 動きを捉える	2
14	デッサン	人体クロッキーを描く		体のプロポーション 動きを捉える	2
15	デッサン	人体クロッキーを描く		体のプロポーション 動きを捉える	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す。				

教科名： デッサン（実習）		後期	教科担任： 長谷川 雅則（実務経験教員）	
学科名： ファッション・プロモート科 建築科(合同)		コース：	1年	単位数： 2単位
授業のねらい	工芸作家での実務経験を活かし、デッサンを通して立体の把握、プロポーション比例の仕組みを目で感じ取り、手で表現することを指導する。また、立体造形では粘土を用いてモチーフを自分なりのオリジナリティーあふれる表現をする。		前期	2H×15W=30H
			後期	2H×15W=30H
			合計	60H
目指す検定・資格	目標 デザイン力 取得可能な検定		教材費	
テキスト・教材	粘土製作用教材			
評価方法	後期：課題 出席状況 学習態度等を総合し評価する		その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	デッサン	身近なものを書く	紙と鉛筆になれよう	2
2	デッサン	円筒形（石膏）を描く	紙の真中に納める	2
3	デッサン	三角錐（石膏）を描く	縦・横・奥行きバランス	2
4	デッサン	クララ像（石膏）を描く	縦・横・奥行きバランス	2
5	デッサン	アグリッパ像（石膏）を描く	縦・横・奥行きバランス 陰影のグラデーション	2
6	デッサン	パルテノンの首（石膏）を描く	縦・横・奥行きバランス 陰影のグラデーション	2
7	粘土制作	ニンニクデッサン	プロポーションを捉える	2
8	粘土制作	ニンニク造型	プロポーションを捉える	2
9	粘土制作	ニンニク造型	プロポーションを捉える	2
10	粘土制作	色彩計画	オリジナルグラフィックデザイナー 色面構成	2
11	粘土制作	色彩計画	オリジナルグラフィックデザイナー 色面構成	2
12	粘土制作	毛の造形	手と腕のプロポーション 指のプロポーションを捉える	2
13	粘土制作	毛の造形	手と腕のプロポーション 指のプロポーションを捉える	2
14	粘土制作	毛の造形	手と腕のプロポーション 指のプロポーションを捉える	2
15	粘土制作	毛の造形	手と腕のプロポーション 指のプロポーションを捉える	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す。			

2025年度 授業計画 専門学校山形V. カレッジ

教科名：PC活用1（演習）		通期	教科担任：江口 優一朗	
学 科 名 ファッション・プロモート科		コース：	1年	単位数：2単位
授業のねらい	コンピュータを扱う上では欠かせないインターネット社会についての知識を身につけ、検定の受検により知識の定着を図る。Word2019およびExcel2019の基礎から応用までの技法を学び到達段階ごとに検定の受験により技術の定着を図る。		前期	2H×15W = 30H
			後期	2H×15W = 30H
			合計	60H
目指す検定・資格	目標	取得可能な検定 Word, Excel 1級、2級、3級	教材費	
	テキスト・教材			
		Excel2019クイックマスター基本編、応用編		
評価方法	前期	実技試験、課題	その他	
	後期	実技試験、課題		
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	文書作成ソフトの概要	文書作成ソフトとは	文書作成ソフトの概要を理解する	2
	Wordの概要	文書作成ソフトでできること		
		Wordの概要		
2	Wordの基本操作	Wordの起動方法、画面構成、既存の文書の開き方、画面操作、	Wordの基本操作をマスターする	2
		表示モードの切り替え、終了方法		
3	Wordでの効率的な文字入力	新規文書の作成、入力システムの概要・切り替え、文書の保存	効率的な文字入力をマスターする	2
4	文書の編集	ページの書式設定、文字の書式設定、字下げ・行間の設定、禁則処理、罫線・網掛けの設定	文書のレイアウトを整える方法をマスターする	2
5	文書の印刷	改ページの挿入、ヘッダーとフッターの設定、印刷イメージの確認方法、印刷の実行	ワンクリックで効率よく印刷する方法をマスターする	2
6	文書の作成	機能を活用したあいさつ文の挿入方法、段落番号・箇条書きの設定、タブとインデント、ビジネス文書のレイアウト	ビジネス文書の効率的な作成法をマスターする	2
7	↓	↓	↓	2
8	表を用いた文書作成	表の作成、表の編集、表の装飾	見やすい表の作成法をマスターする	2
9	↓	↓	↓	2
10	図形や画像を用いた文書の作成	ワードアート・画像の挿入と編集、図形の作成・編集、テキストボックスの作成、アイコンの活用	様々な視覚効果を使いチラシを作成出来るようにする	2
11	↓	↓	↓	2
12	実践的なビジネス文書の作成	実務を想定した文書の作成、メールで文書を送る際のマナー	これまでの学習の総まとめとして知識の定着を図る	2

2025年度 授業計画 専門学校山形V. カレッジ

13	↓	↓	↓	2
14	チラシの作成	グラフィック機能を活用したチラシの作成	オリジナリティのあるチラシを作成する。	2
15	↓	↓	↓	2
16	表計算ソフトの概要	表計算ソフトとは	表計算ソフトの概要を理解	2
	Excelの概要	表計算ソフトでできること		
		Excelとは		
17	表の編集、ブックの印刷	罫線、操作アシスト、セルの書式と配置、幅と高さの調整、ページ設定と表示モード	基本的な機能の使用法をマスター	2
18	グラフと図形	グラフ作成編集、図形作成	データを用いたグラフを作成し、分析する方法を知る	2
19	関数	統計、数学、論理、日付の関数	関数を用いたフォーマットの作成ができる	2
20	データベース機能	リスト作成、ソート、抽出	目的のデータを効率よく操作する方法を知る	2
21	書類作成	実務を想定した書類の作成	Excelを使用した簡単な書類の作成法を知る	2
22	↓	実務を想定した書類の作成	↓	2
23	入力補助、関数	表示形式、条件付き書式、文字列操作関数、検索行列関数、情報関数	より高度な機能を使い、便利なフォーマットを作る	2
24	グラフ機能	グラフの拡張とデータ予測	高度な分析ができるよう、応用的なグラフ作成を知る	2
25	複数ワークシート	ワークシートの連携と集計	Excelを使用した効率的な業務遂行において必要な機能	2
26	データベース	オートフィル、複雑な条件による抽出、小計機能	より複雑なデータ操作について知る	2
27	データ分析	ワークシート分析、ピボットテーブル、値の予測	クロス集計、予測などより高度な分析方法を知る	2
28	処理の自動化	マクロの登録と実行		2
29	見積書、勤怠管理表の作成	関数、マクロの機能を使用し、実務で書類をより高度かつ効率的に作成するための方法	ビジネスシーンで必要な書類を効率的に作る方法	2
30	↓	↓	↓	2
その他	單元ごとに実習課題を課す			

2025年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名： ビジネス実務 1（講義）		前期	教科担任：堀川 栄美子			
学科名：進級年次		コース：	1年	単位数：	2単位	
授業のねらい	卒業の希望進路に向けて、自分のキャリアを自分の意志で作っていくためには、自己理解と仕事理解が基本となる。グループワークを行いながら、時には自分自身に問いかけながら、自己実現に向かって進んでいく。			前期	2H×15W = 30H	
				合計	30H	
	目指す検定・資格				教材費	
テキスト・教材	『未来ノート』			教材費		
	『就職 一般常識トレーニングブック』					
評価方法	前期 レポート・課題 出席状況を総合する			その他		
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	就職リエンテーション	就職に向けて 2年間の心構え	卒業生の状況理解と、2年間の目標を設定する		2	
2	未来ノート 1	チーム学修を進めるために	チーム学習の意義を知る。		2	
		「話し合いの意義」	メンバー同士の関わり方を身につける			
3	未来ノート 2	自己理解	自分の価値観についてチームで共有し、人それぞれの価値観があることを知る		2	
		「私の大切なもの探し」				
4	未来ノート 3	自己理解	自分を他者に伝えることを意識して、自己イメージを言葉にできるようになる		2	
		「私ってどんな人？」				
5	未来ノート 4	自己理解	他者は自分が成長するために大切な存在であることを知る		2	
		「自分を知る手がかり」				
6	未来ノート 5	自己理解	自分の人生に対する心構えの根っこにあるものに気づき、自分らしさを考える		2	
		「過去を振り返ろう」				
7	未来ノート 6	自己理解	メンバーの考えを聴きあい、多様な価値観を受け入れられるようになる		2	
		「なぜ働くの？」				
8	未来ノート 7	仕事理解	自分のコミュニケーション特性を知り、円滑なコミュニケーションの取り方を体得する		2	
		「地図を作ってみよう」				
9	就活ワークショップ 1	入学から2か月後の振り返りとこれからのキャリアプランニング	2か月の経験から感じたことを大切に、未来へのプランニングを行う		2	
10	未来ノート 8	仕事理解	組織人としての行動、役割について考える。		2	
		「ケーススタディで学ぶ実際の仕事」				
11	未来ノート 9	仕事理解	実際に働いている人にインタビューすることで、仕事を自分に引き寄せて考える		2	
		「インタビューしてみよう」				
12	未来ノート 10	仕事選択 ～未来に向けて～	全体目標達成のための組織人としての役割・協働を考える		2	
		「模擬店を出そう」①				
13	未来ノート 11	仕事選択 ～未来に向けて～	全体目標達成のための組織人としての役割・協働を考える		2	
		「模擬店を出そう」②				
14	未来ノート 12	仕事選択 ～未来に向けて～	自己理解と仕事理解をマッチさせ、キャリアの目標を設定する		2	
		「未来ページ」				
15	前期総括	前期まとめ	就職準備期の後期に向けて、キャリア目標を明確にする		2	
その他						

2025年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名：ビジネス実務2（講義）		後期	教科担任： 堀川 栄美子	
学科名：進級年次1年生		コース：	単位数：	2単位
授業のねらい	卒業後の希望進路に向けて、自分のキャリアを自分の意志で作っていくため、自己理解と仕事理解を深め、これを基本としてグループワークを行いながら、時には自分自身に問いかけながら、自己実現に向かって進むことがねらい。		後 期	2H×15W=30H
	ビジネスマナーを習得し、就職活動等の希望進路に自信を持って臨めるようにする。		合 計	30H
目指す検定・資格	目標 取得可能な検定		教材費	
テキスト・教材	『マイロード21』 キャリアファイル			
評価方法	後期：模擬面接にて評価		その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	就活ワークショップ	自己分析を深めるワーク	キャリアカウンセラーによる指導	2
2	就職研究会	卒業生と交流	社会人より話を聞き、就職活動を詳しく知る。	2
3	企業研究	企業研究	履歴書の書き方、様式を知る。	2
4	就職活動準備	履歴書の作成 実践①クレペリン検査実施	自己分析を深める。	2
5	就職活動準備	履歴書の作成 実践② 一般常識テスト実施	自己分析から志望動機を書けるようにする。	2
6	就職活動準備	受験書類の提出マナー	封筒の宛名の書き方、郵送の仕方を知る。	2
7	就職活動準備	面接試験 入退室他マナー	実践を通して、自信をもって就職活動の準備ができるようにする。	2
		面接試験 応答練習		
8	就職活動準備	①入社準備 内定期間中の過ごし方	自己分析を深める。	2
		就業の心得		
		電話・来客応対		
		②未内定者の就職試験対策		
9	就職活動準備	面接指導・履歴書指導など	社会人になるにあたってのマナー・知識を習得するとともに、未内定者の就職試験合格を目指す。	2
10	就職活動準備	③SPIテスト実施		2
11	就職活動交流会	就職内定者の話を聞き、就職活動の具体的なイメージを持つ。	就職活動の準備ができるようにする。	2
12	就職活動準備	① 教養講座	社会人になるにあたってのマナー・知識を習得するとともに、未内定者の就職試験合格を目指す。	2
13		② 就職交流会		2
14		③ 履歴書提出等、模擬面接への準備1		2
15		④ 履歴書提出等、模擬面接への準備2		2
その他	なお、上記授業のほか、課題を課すものとする。			

教科名：ビッグデータマーケティング（講義）		通期	教科担任： 山本絵里子（実務経験教員）		
学科名：ファッションプロモート科		コース：医薬、医療 事務科合同	1年	単位数： 2単位	
授業のねらい		企業運営の経験を活かし、マーケティングについて指導する。物が売れる仕組みを作ることは社会にとって重要なことであり、クライアントからの商品開発やショップマスター、起業を考える上でもマーケティングは重要な基礎知識である。マーケティングの基本からwebの活用、ショップデザインに必要なビジュアルマーチャンダイジング、業界分析をビッグデータやAIを活用した現代的な戦略までを総合的に習得する。		前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H	
目指す検定・資格		目標 ・ なし 取得可能な検定		教材費 Dream、ウレコン登録料	
テキスト・教材		Dreamデータマーケター養成講座初級編 印刷教材 50枚			
評価方法		前期 試験 ・ レポート ・ 課題 後期 試験 ・ レポート ・ 課題		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	マーケティングとは	自分が欲しいものは何？ なぜ、人は買い物をするのか？ ニーズ、ウォンツ、シーズとは 潜在、顕在欲求		問いかけにより経験を話し導入し、身近な課題だということを知らせる。	2
2	プロモーション戦略	FMラジオコンペに向けて本校CM案を作り、放送までの流れを知る ①ラジオCMの特徴と課題の提示		本校を選んだ動機をKJ法、マッピングでまとめる。 事例を多く聞く 声に出して話す	2
3		②ラジオCMの実例を知る（プロのアドバイス提示） ③コピー、SE、ナレーションの構成要素 ④放送時間⑤作成 ⑥ブラッシュアップ			
4	プロモーション戦略	メディアミックスとは ①ラジオCMとテレビCMの違い			2
5	②テレビ	②本校CM案課題提示、放送までの流れを知る テレビCM絵コンテ作成課題			2
6	マーケティング 3CとはSTPとは	マーケティングの定義を知る。 顧客、競合、自社を知る。 ターゲット、セグメンテーション、ポジショニング		戦略の立案や計画の見通しに必要な知識を得る 市場と顧客の関係を理解する。	2
7	マーケティングミックス	4Pについてそれぞれ詳細に		売れるための仕組みづくりと いうことを理解する。	2
8	消費者心理について	顧客満足度を高めることの重要性を知る。 A I DMAの法則とはAISAS , SHIPS		売るためには顧客を知る。 ネット社会の変化も知る	2
	人の欲求の変化	人の欲求の変化(マズローの欲求の5段階)を知る。			
9	ライフスタイル	消費者分析として購買時期の分析、ライフスタイルがあることを知る。ペルソナイノベーター、オピニオンリーダー、AIO、リーダー、フォロワー、チャレンジャー		人が購入するには	2
10	情報の収集と分析①	マーケティングリサーチ 消費者行動② ライフスタイル分析/マーケティングリサーチ基礎/データ 収集と活用		リサーチから知識に転化する	2
11	競争戦略・差別化 ブランド戦略	自社と競合の分析 SWOT分析/競争地位別戦略 ブランドの定義と役割/ナショナルブランド・プライベート ブランド		競争優位性を理解する	2
12	マーチャンダイジング	マーチャンダイジングの5適を理解		売り上げをあげる工夫	2
13	VMDとPOPデザイン	VMDとは、POPデザインのhow to		実際の店づくりに生かす	2
14		課題商品POP			

15	導入・プロジェクト課題提示	授業全体像／課題提示「売上が落ちた理由をデータで解明し提案せよ」	データから考える習慣を持つ	2
----	---------------	----------------------------------	---------------	---

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

16	データマーケティング 基礎	POS・IDPOS／定量と定性／CRM／DWHなど	顧客データの構造と役割を理解する	2
17	リアルデータ活用①	ウレコンとREASASの基本操作／カテゴリ別・地域別データの見方	実際の市場動向に触れ仮説のヒントを得る	2
18	リアルデータ活用②	ウレコン：商品ライフサイクル分析／REASAS：地域小売業データの可視化	複数データを重ねて考察する視点を持つ	2
19	仮説立案演習	来店数・単価・天候・販促・地域特性などを軸に仮説マップ作成	仮説は具体的かつ検証可能に	2
20	チームで企画共有・設計	仮説共有と分析設計（データ範囲・期間・手法）	他チームの視点も取り入れてブラッシュアップ	2
21	データ収集・整形	カテゴリ・客層別加工／売上構成や推移	整形ミスが誤解を生むことに注意	2
22	エクセルハンズオン 散布図と相関	散布図の作り方 ・相関係数の意味 ・相関と因果	散布図を作れる 相関係数を出せる 散布図と相関を講める	2
23	データ活用と各業界	・データの利用といろいろな業界を紹介する。 ・小売をベースに講座が進行しているが、その他の業界でもデータ活用がこれからのマーケティングの基礎になることを知る。 ・フィールドワーク	業界間の関わりや、データ活用について知る	2
24	POSデータ ①	・POSデータとはなにか ・POSデータ分析の重要性 ・〈ワーク〉ロコミサイトとPOSデータ	POSデータとはなにか知る （ワーク：POSデータに興味をもつ）	2
25	POSデータ ②	・POSデータの比較 ・POSデータから見えること	POSデータの着眼点を知る POSデータから考える練習をする（答えを出せなくても良い）	2
26	ID-POSデータ ①	・ID-POSデータとはなにか ・POSデータとID-POSデータの違い ・ID-POSデータから見えること①	ID-POSデータとは何かを知る	2
27	ID-POSデータ ②	・売上げを構成する要素（因数分解）① ・購入率とリピート率 ・リフト値	売り上げをあげるためには数値を分析することから	2
28	外部データの利用	・外部データとはなにか ・気象データの利用 ・〈ワーク&GW〉サンプルデータから商品を確定	（自社データとの対比として）外部データとは何かを知る	2
29	発表準備	プレゼン資料の整備／時間配分／質疑応答練習	聞き手視点での構成を意識する	2
30	成果発表・ふりかえり	チーム発表／講評・自己評価	プロジェクト型学習の総括	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す ・後期評価（試験60点+課題40点）×80%中 課題への取り組み姿勢（20%）／中間発表（20%）／最終成果発表（40%）／個人レポート（20%）			

教科名： 茶道（実習）		前期	教科担任： 山本郁子		
学科名：ファッション・プロモート科		コース： FS FD KM	1年	単位数：	2単位
授業のねらい		伝統文化である茶道を通し、人を思いやる心、敬う心の大切さを感じ、礼儀や慣習を知り客のもてなし方、立ち振る舞いを身につける。社会に出たときに活かせるように指導する。		前期	2H×15W=30H
				後期	2H×15W=30H
				合計	60H
目指す検定・資格				教材費	
テキスト・教材		裏千家茶道 印刷教材			
評価方法		前期：試験 出席状況 学習態度を総合して評価する		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	教材説明	茶席の持ち方		帛紗の扱い服装について指導。	2
	道具説明	人間心得			
2	お辞儀の仕方	真行草のお辞儀座礼の場合		点前の基本的動きに注意し立ち振る舞いを身に付ける。	2
3	基本の所作	帛紗の扱い		帛紗をつける。懐中する	2
				帛紗さばき、道具の清めを覚える。	
4	基本の所作	ナツメを清める		気持ちでゆっくり拭きぬく。体の正面で褶先があがらないようにする。	2
		茶筌通し 茶杓を清める			
5	盆前点前	盆略の仕組み		各道具の準備、道具の扱い方を学ぶ。	2
6	お茶の飲み方 箸の使い方	抹茶 菓子の頂き方を学ぶ		お菓子の盛り方。	2
	お菓子の食べ方			取り方(菓子箸の場合)	
7	盆前点前	運ばず同じ場所です		清潔第一に必要なものを使いやすく整理整頓をする。	2
8	盆前点前	運ばず同じ場所です		置き方にも注意する。	2
9	運び盆略	歩き方		歩数を考え、畳4歩で歩く。	2
10	(風炉)	道具運び		ナツメ 茶碗 連水について指導する。	2
	前半 簿茶点前				
11	前半 簿茶点前	柄について		道具の準備をしっかりとする。置き柄、切柄の使い分けに気をつける。	2
12	前半 簿茶点前	お茶の出るまで		道具の準備をしっかりとする。置き柄 切柄の使い分けに気をつける。	2
13	前半 簿茶点前	お茶の出るまで		道具の準備をしっかりとする。置き柄 切柄の使い分けに気をつける。	2
14	客の心得	自席に運ぶやり方		前後の方々への挨拶感謝の気持ちを大切にす。	2
15	茶道先史	裏千家先代の説明		茶道の目的である心と心の交流について。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す。				

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 茶道 (実習)		後期	教科担任： 山本郁子			
学科名：ファッション・プロモート 科		コース：FS FD KM	1年	単位数：	2単位	
授業のねらい		伝統文化である茶道を通し、人を思いやる心、敬う心の大切さを感じ、礼儀や慣習を知り客のもてなし方、立ち振る舞いを身につける。社会に出たときに活かせるように指導する。			前期	2H×15W=30H
					後期	2H×15W=30H
					合計	60H
目指す検定・資格					教材費	
テキスト・教材		裏千家茶道 印刷教材				
評価方法		前期 試験 出席状況 学習態度を総合して評価する			その他	
時数	単元	授業内容(細目)		学習上の留意点		実時数
1	風炉	前半復習		前期授業で学んだことを頭に置き動く。		2
	薄茶 前半復習					
2	風炉 薄茶	全部通して点前		引き柄 柄扱いを覚える。		2
	後半まで					
3	風炉 薄茶	一人の場合と相客と頂く場合の飲み方		頂き方の違いを学ぶ。		2
	前半後半通し連習					
4	風炉 薄茶	道具の拝見		ナツメ、茶杓の拝見。		2
	前半後半通し連習					
5	風炉 薄茶	戸の開け方		左にあけるやり方を身に付ける。		2
	前半後半通し連習					
6	風炉 薄茶	戸の閉め方		左に閉めるやり方を身に付ける。		2
	前半後半通し連習					
7	風炉 薄茶	小帛紗扱い		客への出し方 下げ方を身に付ける。		2
	後半通し連習					
8	風炉 薄茶	茶碗の下げ方		茶碗を重ねない茶碗の下げ方を心がける。		2
	前半後半通し連習					
9	茶の精神	和敬清寂の説明		茶道の精神を理解する。		2
10	茶の歴史	千利休の説明		人物について茶道のつながりを理解する。		2
11	軸の扱い	紐の結び方		扱い方を覚える。		2
12	箱	紐の結び方		箱の種類により結び方の違いを覚える。		2
13	薄茶点前	御茶の運び方 茶会練習 お茶の下げ方		帛紗を使いお客に出し下げ方も学ぶ。		2
14	薄茶点前	御茶の運び方 茶会練習 お茶の下げ方		帛紗で客に出し		2
				下げ方も学ぶ。		
15	薄茶点前	御茶の運び方 茶会練習 お茶の下げ方		帛紗で客に出し		2
				下げ方も学ぶ。		
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す。					

教科名：キャリア実習1（実習）		後期	教科担任：クラス担任	
学科名：ファッション・プロモート科		コース：	1年	単位数：2単位
授業のねらい	外部組織での就労体験、ボランティア体験等を通し、他者とのコミュニケーション力や、組織内での責任、協調性を学び、就労意欲と職業観を養う。		前期	H× W= H
	実習前後は、諸手続き・報告を滞りなく実行し、事務力を高める。		後期	30H×2W=60H
	自分自身の今後の成長課題を再認識し、在学中の向上を目指す。		合計60	H
目指す検定・資格	目標	特になし		教材費
	取得可能な検定	特になし		
テキスト・教材	特になし			
評価方法	後期 所定時間の学外実習・レポート・報告を総合して評価		その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	オリエンテーション	年度の実習概要説明	実習の目的を理解して臨めるように学年・学科共通で理解する	2
		実習目的・実習規程	新入生は特に初めての履修なので、担任がアドバイスをを行う。	
2	学外実習	実習前指定の届け出を行う。		56
		実習 所定の時間数以上を実習する。		
		実習後所定報告書の提出		
3	報告会	全校報告会	プレゼンテーションのトレーニングの場であるとともに、他者の報告を積極的に傾聴し、自己の課題として取り入れる。	2
		他学生に自分自身の実習内容・今後の課題等を報告する		

教科名：Illustrator st1.2 (演習)		通期	教科担任：後藤 清彦	
学科名：ファッション・プロモート科		コース：	1年	単位数：2単位
授業のねらい	デジタル作品を手掛けるデザイナーが扱う代表的なドロー系グラフィックソフトである「Adobe Illustrator」の基本操作を学習し、アプリケーションを使用したデザインコンテンツを制作する。制作者の感性を育て、体系的な知識を身につける。現場で生か		前期 2H×15W = 30H 後期 2H×15W = 30H 合計 60H	
目指す検定・資格	Illustratorクリエイター能力認定試験スタンダード		2,860円	
テキスト・教材	We Net IllustratorクイックマスターCC		教材費	
評価方法	前期 課題 後期 課題		その他	
時数	単元	授業内容 (細目)	学習上の留意点	実時数
1	Illustrator機能概要	Adobe Illustratorの機能について	解かりやすい説明を目指すとともに、イラストレーターへの興味を持たせる	2
2	Illustratorの起動・終了	インターフェース、ツールパネル、パネル操作	実際に操作することで、よりイラストレーターに対する興味を深める	2
3	アートワークの表示とプリント、環境設定	アートワーク操作、ナビゲーターパネル、保存、アートボード、用紙設定など	簡単な基本操作を習得することでイラストレーターに対する自信を持たせる	2
4	塗りと線 課題1	塗りと線、先端・角形状、破線、線の複合 イラスト制作	線を描くことでイラストレーターの楽しさを知る	2
5	オブジェクトの描画	長方形や正方形、円、多角形、スターなどのツールの使い方	基本図形を描くことでイラストレーターの楽しさを知る	2
6	基本的な操作	カット&ペースト、コピー&ペースト、移動・複製、前後関係など	オブジェクトの複製や前後関係を実感できるよう留意する	2
7	レイアウトの補助機能	定規、情報パネルとものさしツール、ガイド、スナップ、グリッドツール、整列	複数作成されたオブジェクトの位置関係を把握する方法を身につけさせる	2
8	パスの基本的な描画	パス、直線ツール、円弧ツール、鉛筆ツール、ペンツールなど	イラストレーター操作の必須条件であるパスの操作を確実に習得できるよう指導	2
9	パスの編集1	パスの追加、アンカーポイントの切り替え・追加・削除、ナイフツールなど	思い通りのパスに編集できるよう学習し、苦手意識を持たせないよう気を付ける	2
10	カラーパネル	グレースケール、CMYK、RGB、HSB	各カラーモデルの特徴を実際にみて理解できるようにする	2
11	スウォッチ、パターン	スウォッチ、グローバルプロセスカラー、スポットカラー、パターン、スポイト	カラーやパターン、スウォッチを登録、管理する方法について確実に学習で	2
12	グラデーション、アピアランス	グラデーション、アピアランス、透明パネル、不透明マスク	様々な効果を学び、より複雑な表現ができる喜びにつながるよう丁寧に指導する	2
13	レイヤー	レイヤーとレイヤーパネル、グループ化、レイヤー間の移動、サブレイヤーなど	複雑なデータを効率的に管理する方法を身につける	2
14	パスの編集2	移動、回転、リフレクト、拡大・縮小、璃シェイプ、シア、スムーズなど	より効率的にパスを変形・編集する方法を知り、イラストレーターを楽しめるこ	2
15	オブジェクトの組み合わせ	エンベロープ、クリッピングマスク、複合パス、パスファインダー	複数のオブジェクトを組み合わせ、変形・加工することで様々な表現が出来るこ	2

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

16	文字の作成	文字ツールと文字エリア、パス上文字、フォントの種類	文字ツールの機能を学習し、使用方法を身につける	2
17	文字関連の機能	文字パネル、トラッキングとカーニング、段落パネル、段落スタイル、文字スタイル	文字組によるレイアウトに必要な機能・用語を実践的に身につけられるよう学習	2
18	イラストレーション(シンボル)	パスファインダーと変形ツール、シンボルの使用方法、ブラシツールなど	様々なツールを駆使できるよう目指す	2
19	イラストレーション(グラデーション)	スポイトツールとグラデーションツール、スウォッチパネルに登録、ブレンドツール	より繊細な立体感や質感を表現するための方法を学ばせる	2
20	イラストレーション(ライブペイント)	トレース、ライブペイント	手書きの線画にイラストレーターで彩色できることを経験させる	2
21	ロゴマーク 1	ペンツールによるトレース、文字ツールでのロゴ作成、バリエーション設計	ロゴマークデザインのプロセスで必要となる基本テクニックを身につけられるよ	2
22	ロゴマーク 2	オリジナルのロゴマークを作成	前回学習したことを生かし、オリジナリティのあるデザインを考えさせる	2
23	タイポグラフィ 1	ナイフツール、パスファインダー、ダイレクト選択ツールなど	いくつかの作例を通して、文字を「絵」として編集し、文字のデザイン化を実	2
24	タイポグラフィ 2	オリジナルのタイポグラフィを作成	前回学習したことを生かし、オリジナリティのあるデザインを考えさせる	2
25	ロゴデザイン(アピアランス)	アピアランスパネル、グラフィックスタイルライブラリなど	アピアランスの仕組みについて理解できるよう指導する	2
26	Webデザイン	カラーモード変更、サイズ変更、Web用保存、ブラウザで確認	Web用画像ファイル形式に保存する方法を学習させる	2
27	グラフの作成	グラフ作成、データ編集、凡例追加など	データ入力からグラフ編集まで基本操作を理解させる	2
28	演習問題	オリジナル作品の作成	これまでの学習を生かし、集大成となる作品の制作を目指す	2
29	演習問題	オリジナル作品の作成	よりハイレベルな作品となるよう個々に対し丁寧な指導を心がける	2
30	演習問題	オリジナル作品の作成	総合的に資格習得レベル到達を目標とする	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： フラワーアレンジ1 (実習)		前期	教科担任： 齋藤美英 (実務経験教員)		
学科名：ファッション・プロモート 科		コース：	1年	単位数： 2単位	
授業のねらい		フラワーアレンジメントデザイナーの実務経験を活かし、フラワーデザインの基礎を指導する。生花を使ってアレンジメント・コサージュ・ブーケなど日常様々な場面で花を飾り生活をより豊かにする技術を学び習得する。		前期 2H×15W = 30H 後期 2H×15W = 30H 合計 60H	
目指す検定・資格		取得可能な検定 フラワー装飾技術検定3級		30,000円	
テキスト・教材		フラワー装飾技能検定試験テキスト 生花			
評価方法		試験 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。		その他	
時数	単元	授業内容 (細目)		学習上の留意点	実時数
1	アレンジメント説明	花を扱うときの注意点 道具について		アレンジメントを理解する。 作り方のポイントをしっかりつかむ。	2
2	花束	花束を均等に配置し葉物をクッションとして円形に作成する		楽しみながら花の配置をおこない基本を身に付ける。スパイラルテクニックを覚える。	2
3	花束	花束を均等に配置し葉物をクッションとして円形に作成する		展開は150度から190度になるように制作する。	2
4	リボン	ループの形 ループの長さ とめつけ用リボンの形		汚れたりしわがよったりしない様に花束を製作する前に作る。	2
5	リボン	ループの形 ループの長さ とめつけ用リボンの形		左右対称に寸法を測定して製作する。	2
6	バスケットアレンジ	大輪系の花で骨組み部分を形作る。 吸水性フォームにドームのアレンジメントを製作		吸水性フォーム 段階の骨格を理解する。	2
7	バスケットアレンジ	大輪系の花で骨組み部分を形作る。 吸水性フォームにドームのアレンジメントを製作		底辺が水平になるようにする。花を平均に配置する。	2
8	バスケットアレンジ	大輪系の花で骨組み部分を形作る。 吸水性フォームにドームのアレンジメントを製作		バラ(大輪系)のみ繰り返し練習する。 底辺が水平になるようにする。花を平均に配置する。	2
9	バスケットアレンジ	大輪系の花で骨組み部分を形作る。 吸水性フォームにドームのアレンジメントを製作		バラ(大輪系)のみ繰り返し練習する。	2
10	ブートニア	二等辺三角形のブートニア		花の向きに注意する。 機能的、安全性 フィット感に注意して製作する。	2
11	ブートニア	二等辺三角形のブートニア		棒とりつけのワイヤーに注意する。 機能的、安全性 フィット感に注意して製作する。	2
12	課題を作る	花束の製作		決められた寸法。 花の位置 花の組み方	2
13	課題を作る	花束の製作		経過観察をしながら進める。	2
14	課題を作る	花束の製作		正面 側面 背面すべて気をつける。	2
15	課題を作る	花束の製作		楽しみながら、基本の形を覚える。	2
そ					

の
他 授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す

教科名： フラワーアレンジ1（実習）		後期	教科担任： 齋藤美英（実務経験教員）	
学科名：ファッション・プロモート 科		コース：FD	1年	単位数： 2単位
授業のねらい	フラワーアレンジメントデザイナーの実務経験を活かし、フラワーデザインの基礎を指導する。生花を使ってアレンジメント・コサージュ・ブーケなど日常様々な場面で花を飾り生活をより豊かにする技術を学び習得する。		前期 後期 合計	2H×15W=30H 2H×15W=30H 60H
目指す検定・資格	目標 取得可能な検定 フラワー装飾技術検定3級		教材費	
テキスト・教材	フラワー装飾技能検定試験テキスト 生花			
評価方法	後期： 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。		その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	フラワーアレンジメントドームスタイル	360度展開の基本的なアレンジメント、半円形にアレンジする	ドーム型 水平にする。スパイラルを組むときには花を一つ一つ手前に寝かせながら組む。	2
2	トライアングュラススタイル	復習と応用 三角形、平面的なアレンジメントを製作	3つのガランドを組み合わせて製作する。 180度～210度展開にする。	2
3	コーススタイル	復習と応用 円錐形のスタイルに製作する	3つのガランドを組み合わせて製作する。 180度～210度展開にする。	2
4	水平スタイル	復習と応用 水平型のアレンジメント	何処から見ても美しい水平に構成する。360度展開。	2
5	ファンスタイル	復習と応用 扇形アレンジメント	左右対称に製作する。	2
6	クレセントスタイル	復習と応用	三日月型に製作する。主軸が傾かないようにする。	2
7	フラワーアレンジメント フリースタイルデザイン	一方見	カットするときは長め長めにカットする。	2
8	フリースタイル	四方見	作品を全方向から確認しながら作成する。	2
9	フリースタイル	花材の曲線を生かす	花の曲線をよく観察してどのように配するか考える。	2
10	フリースタイル	面をつくる	花材の表面を意識して作成する。	2
11	ブーケ応用 グリーンブーケ リングブーケ	リング状に構成する	持った時のバランスとバックの処理に留意する。	2
12	リースづくり	花輪 木の实を使ってクリスマスのかざり付け	フリ下げたときの重心に配慮しながらデザインする。	2
13	アレンジメント スタイリッシュツリーコーン	コーンオアシスを使って コーンスタイルの応用	シャープな円錐形になるように面を校正する。	2
14	ブーケ応用 シェイプトムーン	シェイプトムーン	手元に持った時のバランスと展開に注意する。バックの処理に注意する。	2
15	アドベントリーース リング	教会で使うリース状の製作	全体のバランスに注意してまとめる。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

教科名：ファッションデザイン1（講義）		前期	教科担任：沼澤 玲菜(実務経験教員)	
学科名：ファッション・プロモート		コース：	1年	単位数：2単位
授業のねらい	服飾デザイナーの実務経験を活かし、ファッションデザインに必要な基礎をデザイン画として表現することを通じて学び指導する。さらにクリエイティブな感性と企画力の強化をはかり、実践的なビジネス力を身につけることを目指す。		前期 後期 合計	2H×15W=30H 2H×15W=30H 60H
目指す検定・資格	目標 コンテスト 取得可能な検定		教材費	
テキスト・教材	ファッションデザインテクニック			
評価方法	前期：課題、授業態度、出席状況を総合して評価する		その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	ドローイング基礎1	デザイン概論 道具の使い方、基礎ドローイング	教科の目的の認識。導入編としてデザインとアートについての考案。	2
2	ドローイング基礎2	色、素材 アイテム知	簡単にかける方法を試して自信をつける。人台を基に服を載せていく。	2
3	イメージ基礎1	イメージボード作成 素材収集	自分の興味の認識 雑誌やチラシを切り抜いて収集する。	2
4	イメージ基礎2	素材収集、選別	テーマの抽出 イラストボードに配置して完成図を検討する。	2
5	イメージ基礎3	ボード構成	構成の技術 テーマを言葉に変換する。400字以内の説明と20字以内のコピー。	2
6	イメージ基礎4	プレゼン SD法の解説 実習	発表の経験 イメージを分析できるように知識としてまとめる。	2
7	デザイン発想 ファッション造形1	立体裁断の基礎	絵と布の関係 デザイン発想 ダーツの処理の仕方。	2
8	ファッション造形2	ピンワーク	絵と布の関係 スケッチを基に布を人台に合わせてピンで止めて形を作っていく	2
9	ファッション造形3	制作	型取りの方法から制作までの過程。布を平に付け型紙を制作する。	2
10	ファッション造形4	制作	作品として完成させる。もう一度布を組み立て作品にする。	2
11	ファッション造形5	スケッチ 構成	PCの使い方 完成した作品をスケッチする。 作品を撮る。	2
12	ドローイング1	8頭身のプロポーション	人体、寸法の理解 頭身の知識と8頭身のプロポーションを実技で作成してみる。	2
13	ドローイング2	着装	人体と布の関係 光と影の方向性と素材感出し方を研究する。	2
14	ドローイング3	ポーズと着装	ドレープ、シワの出方 その表現方法を試す。	2
15	ドローイング4	彩色	絵の具の使い方、デザイン画作成のプロセスを体験。階段を踏んで完成させる。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

教科名：ファッションデザイン（講義）		後期	教科担任：沼澤 玲菜(実務経験教員)	
学科名：ファッション・プロモート		コース：	1年	単位数： 2 単位
授業のねらい	服飾デザイナーの実務経験を活かし、ファッションデザインに必要な基礎を、デザイン画として表現することを通じて学び指導する。さらにクリエイティブな感性と企画力の強化をはかり、実践的なビジネス力を身につけることを目指す。		前期 後期 合計	2H×15W=30H 2H×15W=30H 60H
目指す検定・資格	目標 コンテスト		教材費	
テキスト・教材	ファッションデザインテクニック			
評価方法	後期： 課題、授業態度、出席状況を総合して評価する		その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	アイラム平図 1	作成可能なデザイン画の基礎として カットソー、ブラウス	製図制作方法の情報がわかるデザイン画作成の方法を基礎から学ぶ。	2
2	アイラム平図 2	シャツ スカート 平面図 アイテム研究	アイテムの種類や歴史を調べ描き方のバリエーションを広げる。	2
3	アイラム平図 3	ワンピース 平面図 アイテム研究	上下のバランスのとり方を寸法の割り出し方を学ぶ。	2
4	アイラム平図 4	ジャケット スーツ 平面図 アイテム研究	伝統的な服作りの情報の代表であるジャケットを学ぶ。	2
5	アイラム平図 5	ジャンパー 平面図 アイテム研究	機能性による衣服の変化 デザインを考慮する。	2
6	アイラム平図 6	パンツ コート 平面図 アイテム研究	コートの種類や歴史も一緒に学ぶ。	2
7	アイラム平図 7	着色 素材の描き分け	柄 テック 千鳥 ツイード 皮などの素材を描いてみる。	2
8	ドローイング5	ポーズと着装の基礎	ポーズをとった時の服の変化	2
9	ドローイング6	ポーズバリエーション	様々なポーズを描いてみる。	2
10	ドローイング7	ポーズバリエーション	様々なポーズを描いてみる。	2
11	ブランド創造1	イメージ SD法 配色	イメージを表現する2つの配色をする。	2
12	ブランド創造2	配色と形、素材のイメージ	SD法の表上で分析する。さらに形と素材のイメージを分析する。	2
13	ブランド創造3	ブランドを調べる	ブランドのコンセプト、デザイン企画、販売を調べる。	2
14	企画書作成1	ブランドを創る	企画書の作成 ワークシート企画書を作ってみる。	2
15	企画書作成2	ブランドを創る	ブラッシュアップ 発表	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

教科名：アロマセラピー1（講義）		前期	教科担任：山本絵里子（実務経験教員）	
学科名：ファッション・プロモート科		コース：FD	1年	単位数：2単位
授業のねらい	指導者の下、アロマセラピーとは何かを理解し健康に日常生活の質を上げるために香りをどのように活用していったらよいかの基礎を学ぶ。2年次5月の検定取得のための基礎知識を学ぶ。また、マッサージ（トリートメント）の基礎的技術手法を身につける。		前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H	
目指す検定・資格	目標 日本アロマ環境協会1級、2級アロマセラピー検定（2年次5月受験） 取得可能な検定 日本アロマ環境協会アドバイザー（2年次6月講習取得） 環境カオリスト検定		エッセンシャルオイル 検定対応1級B 4200円	
テキスト・教材	日本アロマ環境協会1級・2級アロマセラピー検定テキスト アロマ検定問題集合格テキスト&模擬問題 アロマセラピー検定公式問題集 印刷教材		教材費 他基材3000円	
評価方法	前期：試験 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。		その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	アロマセラピーの基本	アロマセラピーを安全に使うための注意と利用法 実習 芳香浴	健康に活かし、安全に楽しむためにプロとして指導するために何度も注意を確認しておく。	2
2	アロマセラピーを生活に取り入れる。	空間づくりのためにアロマの効果を活用しながら空間を清潔に保つ。	ただの空間演出だけでなく、心理的、科学的根拠を理解して体にも環境にもやさしいアロマを使う。	2
3	エッセンシャルオイルの特性	エッセンシャルオイルの化学性と性質の違いを理解する。	エッセンシャルオイルのそれぞれの香りから受ける印象を大切に、特色を覚える。	2
4	基材の化学性	有機化合物とは何か、基材の種類と特性を理解し、使う目的や肌質に合わせる。	エッセンシャルオイルの成分が塩基により特性、名称が変わることを理解する。	2
5	実習	バスソルトを作る。 重曹、クエン酸の役割と効用	症状を改善するためにエッセンシャルオイルと基材の組み合わせを応用する。	2
6	実習	香りで涼しさを演出する手法を学ぶ ハーブアレンジメント+保水ジェル+ミント	体感温度にも影響を及ぼすことができる。より涼しさを演出する。	2
7	健康学	身体を整えるしくみや身体作り（栄養、運動、病気）を知る。	人間の持つ恒常性を十分に引き出し、健康を守るために栄養、運動、休養が必要である。	2
8	健康学 内臓	身体の器官（内臓）について知る	内臓、器官がどのような働きで、どこにあるか、自分の体に責任を持つ	2
9	健康学 病気	メタボリックシンドローム、ロコモシンドローム高血圧、梗塞などどのような成人にどんな病気が起こるかを 知る	中高年以降起こりやすい病気の原因と予防について知る。	2
10	健康学 女性特有の病気	女性に起こりやすい、女性器官と特有の病気について理解する。	更年期以降女性のホルモンバランスがくずれ起こる病気について知る。	2
11	健康学 神経	交感神経と副交感神経、脳と神経についてしくみを学ぶ	言葉は聞いたことがあるが理解できていない部分を理解する。	2
12	健康学 ストレス	ストレスとは何か、ストレスの軽減、コントロールの方法について理解する（自律神経の働き含む）	ストレスの軽減についてアロマセラピーが心理的に有効であることを知る。	2
13	健康学 睡眠	健康を守るためには休養と睡眠が必要であり、睡眠についてのしくみを理解する。睡眠のサイクル、NON-REM睡眠の特色を知る。	神経との関係、人間にとって健康維持に大切な睡眠であることを理解する。	2
14	健康学 運動効果	運動効果について理解する。 運動の種類と効果を知り、病気の予防と改善に活かす。	病気を予防するうえでも、生活の質を上げるうえでも必要な知識を得る。	2
15	健康学 栄養	栄養バランスを理解する。 6大栄養素とは、カロリーとの関係など基礎的知識を得る。	人間が生きていくために食事の栄養不可欠であり、働きについて認識を持たせる。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

教科名： アロマセラピー（講義）		後期	教科担任： 山本 絵里子（実務経験教員）	
学科名： ファッション・プロモート科		コース：	1年	単位数： 2単位
授業のねらい	指導者の下、アロマセラピーとは何かを理解し健康に日常生活の質を上げるために香りをどのように活用していったらよいかの基礎を学ぶ。2年次5月の検定取得のための基礎知識を学ぶ。また、マッサージ（トリートメント）の基礎的技術手法を身につける。		前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H	
目指す検定・資格	目標 日本アロマ環境協会1級、2級アロマセラピー検定（2年次5月受験） 取得可能な検定 日本アロマ環境協会アドバイザー（2年次6月講習取得） 環境カオリスト検定		教材費	
テキスト・教材	日本アロマ環境協会1級・2級アロマセラピー検定テキスト アロマ検定問題集合格テキスト&模擬問題 アロマセラピー検定公式問題集 印刷教材			
評価方法	後期：試験 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。		その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	健康学 ダイエット	前回学んだ運動と栄養を活用し、健康的なダイエットの正しい知識が得られるよう理解する。	学んだ知識を総括し、積極的に健康管理でき、アドバイスできるようにする。	2
2	健康学 皮膚	アロマセラピーが体内に浸透する経路として皮膚から侵入し血液循環する重要な組織である。	日常のスキンケアアドバイスができるようにする。	2
3	健康学 骨格	骨格について正しく覚える	自分の体でありながら、どこでどうつながり、動くのか知らない。ボディトリートメントをするにあたり、筋肉や骨の位置、リンパを流すために正しい知識を習得する。	2
4	健康学 筋肉	筋肉について正しく覚える	自分の体でありながら、どこでどうつながり、動くのか知らない。ボディトリートメントをするにあたり、筋肉や骨の位置、リンパを流すために正しい知識を習得する。	2
5	健康学 リンパ	リンパについて正しく覚える	自分の体でありながら、どこでどうつながり、動くのか知らない。ボディトリートメントをするにあたり、筋肉や骨の位置、リンパを流すために正しい知識を習得する。	2
6	実習	セルフコスメとしてボディクリームを作る。 ビーズワックス、シアバターを作ってコスメ作り	カサツキを抑え、保湿する冬の体メンテナンスのためクリームを作る。	2
7	ボディトリートメント 講義	手技の種類と効果、注意事項などボディトリートメントの基礎技術を学ぶ。	指の使い方、腕の動かし方、施術者の姿勢など効果と共に基礎知識を得る。	2
8	ボディトリートメント 実習 顔	セルフトリートメントの技術を学ぶ ①顔のトリートメント	基礎知識をもとにパーツ毎に分けてトリートメント技術を習得し、全身へとつなげていく。	2
9	ボディトリートメント 実習 四肢	セルフトリートメントの技術を学ぶ ②四肢のトリートメント	基礎知識をもとにパーツ毎に分けてトリートメント技術を習得し、全身へとつなげていく。	2
10	ボディトリートメント 実習	下半身(前面)のマッサージ基礎を学ぶ	基礎知識をもとにパーツ毎に分けてトリートメント技術を習得し、全身へとつなげていく。	2
11	ボディトリートメント 実習	上半身(前面)のマッサージ基礎を学ぶ	基礎知識をもとにパーツ毎に分けてトリートメント技術を習得し、全身へとつなげていく。	2
12	ボディトリートメント実習 全身	全身のマッサージを習得する	基礎知識をもとにパーツ毎に分けてトリートメント技術を習得し、全身へとつなげていく。	2
13	ボディトリートメント実習 全身	全身のマッサージを習得する	基礎知識をもとにパーツ毎に分けてトリートメント技術を習得し、全身へとつなげていく。	2
14	自分だけのオリジナルの香りを作る	香りの要素ノートを学び精油の香りの特徴と持続時間を考慮し、自分だけのオリジナルの香りをブレンドする。	学んできたことを総合し目的に合った香りを調合する。	2
15	自分だけのオリジナルの香りを作る	香りの要素ノートを学び精油の香りの特徴と持続時間を考慮し、自分だけのオリジナルの香りをブレンドする。	学んできたことを総合し目的に合った香りを調合する。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

2025年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名：着付け1（実習）		前期	教科担任：堀川 栄美子		
学科名：ファッション・プロモート		コース：FS KM	1年	単位数：2単位	
授業のねらい		卒業後の希望進路に向けて、自分のスタイルを自分の意志で作っていくため、自己理解と仕事理解を深め、これを基本としてグループワークを行いながら、時には自分自身に問い着物を美しく着るための補正の方法を学び、着用した後のたたみ方、しまい方、手入れ方法まで習得する。		前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H	
目指す検定・資格				教材費	
テキスト・教材		和装の道テキスト			
評価方法		前期：試験、授業態度、出席状況、道具の準備等を総合して評価する		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	着付の道具	着付に必要な道具について学ぶ。		着付に必要な道具を適切に選ぶ力を身につけ、洋服を着用する時との違いに興味をいだけるようにする。	2
2	就職研究会	着物や帯にどのような種類のものがあるのか学ぶ。		様々な着物、帯の違いを正確に把握できるようにする。	2
3	企業研究	企業研究		季節に合う着物、着物の格の違いに興味を持ちながら学べるようにする。	2
4	就職活動準備	履歴書の作成 実践② 一般常識テスト実施		体の凹凸を修正する意義について知り、着物と洋服の違いに気づけるようにする。	2
5	補正②	自分の体形に合う補正を学ぶ。 ①入社準備 内定期間中の過ごし方		タオルコットンをあてて補正をし、美しい体型づくりを身につけられようにする。	2
6	補正③	自分の体形に合う補正を学ぶ。 補正着を製作する。		タオルコットンをあてて補正をし、美しい体型づくりを身につけられようにする。	2
7	浴衣の製作	面接指導・履歴書指導など			2
8	就職活動交流会 浴衣の製作	就職内定者の話を聞き、就職活動の具体的なイメージを持つ。		自分の寸法に合わせた浴衣を製作することで、着やすさや着崩れ防止はどのようなことか実感できるようにする。	2
9	浴衣の製作	② 就職交流会			2
10	浴衣の製作	④ 履歴書提出等、模擬面接への準備2			2
11	浴衣の製作	背縫い、揚げ縫い		洋服とは違った、平面の裁断や、標のつけ方、始末の仕方にも興味を持てるよう留意する。	2
12	浴衣の製作	衿付け、始末			2
13	浴衣の製作	衿付け①			2
14	浴衣の製作	衿付け②			2
15	浴衣の製作	衿始末①			2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す				

2025年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名：着付け1（実習）		後期	教科担任：堀川 栄美子	
学科名：ファッション・プロモート		コース：FS KM	1年	単位数：2単位
授業のねらい		和裁研究所勤務での実務経験を活かし、着物の核やTPOを理論として理解するよう指導する。 着物を美しく着るための補正の方法を学び、着用した後のたたみ方、しまい方、手入れ方法まで習得する。		前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H
目指す検定・資格				教材費
テキスト・教材		和装の道テキスト		
評価方法		後期：試験、授業態度、出席状況、道具の準備等を総合して評価する		その他
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	浴衣の製作	衿の始末	自分の寸法に合わせた浴衣を製作することで、着やすさや着崩れ防止はどのようなことか実感できるようにする。洋服とは違った、平面の裁断や、標のつけ方、始末の仕方にも興味を持てるよう留意する。	2
2	浴衣の製作	脇縫い	自分の寸法に合わせた浴衣を製作することで、着やすさや着崩れ防止はどのようなことか実感できるようにする。洋服とは違った、平面の裁断や、標のつけ方、始末の仕方にも興味を持てるよう留意する。	2
3	浴衣の製作	脇始末①	自分の寸法に合わせた浴衣を製作することで、着やすさや着崩れ防止はどのようなことか実感できるようにする。洋服とは違った、平面の裁断や、標のつけ方、始末の仕方にも興味を持てるよう留意する。	2
4	浴衣の製作	脇始末②	自分の寸法に合わせた浴衣を製作することで、着やすさや着崩れ防止はどのようなことか実感できるようにする。洋服とは違った、平面の裁断や、標のつけ方、始末の仕方にも興味を持てるよう留意する。	2
5	浴衣の製作	脇始末③	自分の寸法に合わせた浴衣を製作することで、着やすさや着崩れ防止はどのようなことか実感できるようにする。洋服とは違った、平面の裁断や、標のつけ方、始末の仕方にも興味を持てるよう留意する。	2
6	浴衣の製作	裾縫い	自分の寸法に合わせた浴衣を製作することで、着やすさや着崩れ防止はどのようなことか実感できるようにする。洋服とは違った、平面の裁断や、標のつけ方、始末の仕方にも興味を持てるよう留意する。	2
7	浴衣の製作	袖付け	自分の寸法に合わせた浴衣を製作することで、着やすさや着崩れ防止はどのようなことか実感できるようにする。洋服とは違った、平面の裁断や、標のつけ方、始末の仕方にも興味を持てるよう留意する。	2
8	浴衣の製作	袖始末	自分の寸法に合わせた浴衣を製作することで、着やすさや着崩れ防止はどのようなことか実感できるようにする。洋服とは違った、平面の裁断や、標のつけ方、始末の仕方にも興味を持てるよう留意する。	2
9	浴衣の製作	仕上げ	自分の寸法に合わせた浴衣を製作することで、着やすさや着崩れ防止はどのようなことか実感できるようにする。洋服とは違った、平面の裁断や、標のつけ方、始末の仕方にも興味を持てるよう留意する。	2
10	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ（自分で着る）	着崩れを防ぐには、苦しくない着付けとはどのようなものかを理解できることに留意する。	2
11	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ（自分で着る）		2
12	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ（自分で着る）		2
13	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ（自分で着る）		2
14	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ（自分で着る）		2
15	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ（自分で着る）		2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

教科名： 和服構成・製作1（基礎）（講義）		通期	教科担任： 池田恭仁子(実務経験教員)	
学科名：ファッション・プロモート 科		コース： FS KM	1年	単位数： 2単位
授業のねらい	和裁研究所で勤務経験のある教員が、その経験を活かして、和・洋服がいかにして販売されるかまでのプロセスを指導する。お客様の心理をよく理解してうえでの販売の技術を身に着ける。1年時に学識をさらに深めることを目標とする。		前期	2H×15W=30H
			後期	2H×15W=30H
			合計	60H
目指す検定・資格	ファッション販売能力検定2級 和裁技術検定		教材費	
テキスト・教材	ファッション販売II 和裁技能検定 ファッション販売能力検定試験問題集2級 (一般財団法人日本ファッション教育振興協会)			
評価方法	前期：試験 授業態度 出席状況を総合して評価する		その他	
	後期： 同上			
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	ファッション販売知識	ファッション販売の流れと販売スタッフに求められる資質について	販売の形が多様化する中で高まる接客の重要性を理解し、販売スタッフに求められる資質とはどのようなものかを探る。	4
2	ファッション販売知識	販売スタッフの役割	販売スタッフが担う役割について知る。	4
3	ファッション販売知識	販売に必要な情報	販売スタッフに必要な様々な情報について考える。	4
4	ファッション販売知識	顧客づくりの重要性と管理術	顧客づくりの重要性と情報の管理の方法と必要性を学ぶ。	4
5	ファッション販売知識	顧客づくりの重要性と管理術	顧客づくりの重要性と情報の管理の方法と必要性を学ぶ。	4
6	ファッション・マーケティング知識	マーチャンダイジングの知識と実践	マーチャンダイジングの基礎的な知識を身につけるようにする。	4
7	ファッション・マーケティング知識	リテールマーチャンダイジング	ファッション店舗の視点で具体的なリテールマーチャンダイジングについて理解を深める。	4
8	ファッション・マーケティング知識	デジタルマーケティング	ICTを活用したマーケティング活動について理解を深める。	4
9	店舗運営管理	店舗運営管理の基本	店舗運営に関わる業務を学び、そのために必要な知識を蓄える。	4
10	店舗運営管理	店舗係数管理	店舗運営の貴重な資料となる係数の管理方法について具体例を見ながら理解する。	4
11	店舗運営管理	店舗の人事管理 ～スケジュール管理・人事管理の関連法規～	活気ある売り場づくりのためのワークシフトづくりや人事管理を円滑にするための労働法などを学ぶ。	4
12	店舗運営管理	店舗の人事管理 ～人材育成・ミーティング～	スタッフ一人ひとりを計画的に育成するための研修の方式などの知識を深める。	4
13	店舗の運営管理	コンプライアンス	企業のコンプライアンスの重要性などについて理解を深める。	4
14	検定対策	過去問題を解いてみる。	問題を解くことによって自分の苦手分野を見つけ、検定に向けて知識の強化を図る。	4
15	検定対策	過去問題を解いてみる。	問題を解くことによって自分の苦手分野を見つけ、検定に向けて知識の強化を図る。	4
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 和服構成・製作2（基礎）（実習）		前期	教科担任： 池田恭仁子(実務経験教員)	
学科名：ファッション・プロモート 科		コース： KM	1年	単位数： 8単位
授業のねらい	和裁研究所での実務経験を活かし基本の運針から始め、和服について必要な理論と実技を指導する。		前期	8H×15W=120H
	自分の体形にあった着物を仕立て上げる中で、竹田式和裁の着やすく、着崩れしない、丁寧な仕立ての方法を身につける。		後期	8H×15W=120H
			合計	240H
目指す検定・資格	和裁技術検定（初級）		教材費	
テキスト・教材	和裁教科書からの抜粋プリント			
評価方法	前期： 作品の提出、授業態度、出席状況、実技等を総合して評価する。		その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	用具・布地の扱い方	和裁に必要な針、糸などの用具について学ぶ。また、学習を始めるにあたっての環境整備をする。	和服を仕立てる時に材料にあった用具の選び方、糸の選定などを迷わないように指導する	8
	和裁学習の準備			
	基本縫い			
2	基本縫い	運針、留め方、縫い方、紘け方の各種を学ぶ。	和裁を学ぶ基本となる事柄の学習なので、正しく身につけることに留意する。	8
3	基本縫い	運針、留め方、縫い方、紘け方の各種を学ぶ。		8
4	肌襦袢	晒しを使い、肌襦袢を作成する。		初めての作品になるので丁寧な作業が行えるよう留意する。
5	肌襦袢	晒しを使い、肌襦袢を作成する。	8	
6	肌襦袢	晒しを使い、肌襦袢を作成する。	8	
7	肌襦袢	晒しを使い、肌襦袢を作成する。	8	
8	肌襦袢	晒しを使い、肌襦袢を作成する。	8	
9	大裁女物ひとえ長着	自分の寸法にあった浴衣を仕立てる。	体型に合った寸法の割り出し方や、柄の合わせ方を正しく身につけられるようにする。	8
	(浴衣)	～各部の名称、寸法、柄合わせ～		
10	大裁女物ひとえ長着	自分の寸法にあった浴衣を仕立てる。	電気鋺を使った標のつけ方のコツを身につけられるようにする。	8
	(浴衣)	～裁断、標付け～		
11	大裁女物ひとえ長着	自分の寸法にあった浴衣を仕立てる。	単衣長着の縫い方、始末の仕方などを正しく身につけられるようにする。	8
	(浴衣)	～縫い方～		
12	大裁女物ひとえ長着	自分の寸法にあった浴衣を仕立てる。		8
	(浴衣)	～縫い方～		
13	大裁女物ひとえ長着	自分の寸法にあった浴衣を仕立てる。		8
	(浴衣)	～縫い方～		
14	大裁女物ひとえ長着	自分の寸法にあった浴衣を仕立てる。	8	
	(浴衣)	～縫い方～		
15	大裁女物ひとえ長着	自分の寸法にあった浴衣を仕立てる。	8	
	(浴衣)	～縫い方、仕上げ、たたみ方～		
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す。			

教科名： 和服構成・製作2（基礎）（実習）		後期	教科担任：池田恭仁子(実務経験教員)		
学科名：ファッション・プロモート 科		コース： KM	1年	単位数：	8 単位
授業のねらい		和裁研究所での実務経験を活かし、基本の運針から始め、和服について必要な理論と実技を指導する。	前期	8H×15W=120H	
		自分の体形にあった着物を仕立て上げる中で、竹田式和裁の着やすく、着崩れしない、丁寧な仕立ての方法を身につける。	後期	8H×15W=120H	
			合計	240H	
目指す検定・資格		和裁技術検定（初級）	教材費		
テキスト・教材		和裁教科書からの抜粋プリント			
評価方法		後期：作品の提出、授業態度、出席状況、実技等	その他		
		総合して評価する			
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点		実時数
1	大裁男物ひとえ長着（浴衣またはウール）	男物の単衣を仕立てる。（ミシン仕立て） ～各部の名称、寸法、柄合わせ～	女物との違いを実感しながら学習することに留意する。		8
2	大裁男物ひとえ長着（浴衣またはウール）	男物の単衣を仕立てる。 ～裁断、標付け～			8
3	大裁男物ひとえ長着（浴衣またはウール）	男物の単衣を仕立てる。 ～縫い方～			8
4	大裁男物ひとえ長着（浴衣またはウール）	男物の単衣を仕立てる。 ～縫い方～			8
5	大裁男物ひとえ長着（浴衣またはウール）	男物の単衣を仕立てる。 ～縫い方～			8
6	大裁男物ひとえ長着（浴衣またはウール）	男物の単衣を仕立てる。 ～縫い方～			8
7	大裁男物ひとえ長着（浴衣またはウール）	男物の単衣を仕立てる。 ～縫い方～			8
8	長襦袢	自分の寸法にあった長襦袢を仕立てる。 ～各部の名称、寸法、柄合わせ～	長襦袢の寸法の割り出し方や、柄の合わせ方を正しく身につけられるようにする。	8	
9	長襦袢	自分の寸法にあった長襦袢を仕立てる。 ～裁断、標付け～	電気鋺を使った標のつけのコツを身につけられるようにする。	8	
10	長襦袢	自分の寸法にあった長襦袢を仕立てる。 ～縫い方～	長襦袢の縫い方、始末の仕方などを正しく身につけられるようにする。	8	
11	長襦袢	自分の寸法にあった長襦袢を仕立てる。 ～縫い方～		8	
12	長襦袢	自分の寸法にあった長襦袢を仕立てる。 ～縫い方～		8	
13	長襦袢	自分の寸法にあった長襦袢を仕立てる。 ～縫い方～		8	
14	長襦袢	自分の寸法にあった長襦袢を仕立てる。 ～縫い方～		8	
15	和裁技術の理論学習	和服地の表地と裏地、産地、紋様について学ぶ。		8	
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す。				

教科名： 被服学（講義）		前期	教科担任：池田 恭仁子（実務経験教員）			
学科名：ファッション・プロモート科		コース：ファッション きもの	1年	単位数：	2単位	
授業のねらい	人間生活の基本である「衣」にまつわる様々な		前期	2H×15W=30H		
	事柄を学ぶことで被服の本質を知り、これから		後期	2H×15W=30H		
	の持続可能な衣生活とはどのようなものである		合計	60H		
	べきか自らの考えをまとめられるようにする。					
目指す検定・資格						
テキスト・教材		被服概論（財団法人 職業訓練教材研究会）		教材費		
評価方法		試験、授業態度、出席状況を総合して評価する		その他		
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数	
1	被服の起源	人類が被服を纏うようになったのはなぜか、現在考えられているいくつかの要因を紹介する。			2	
2	被服の目的	身体保護の観点と社会生活の観点から考える。		それぞれの目的を自分の生活に照らし合わせて理解することに留意する。	2	
3	被服の目的	身体保護の観点と社会生活の観点から考える。			2	
4	被服の目的	身体保護の観点と社会生活の観点から考える。			2	
5	被服の分類	形態の変化、生活様式などの観点からの分類を学ぶ。		被服の分類の仕方が視点によって変わることに気づかせる。	2	
6	被服の分類	形態の変化、生活様式などの観点からの分類を学ぶ。			2	
7	被服の種類	日本人が着用する様々な被服を学ぶ。日本人が着用する被服の多様性に目を向けさせ、違いを理解できるようにする。		日本人が着用する被服	2	
				の多様性に目を向けさせ、違いを理解できるようにする。		
8	被服の種類	日本人が着用する様々な被服を学ぶ。			2	
9	被服の種類	日本人が着用する様々な被服を学ぶ。			2	
10	被服の管理	洗浄の方法、洗剤の種類や使い方、保管の方法を学ぶ。		様々な洗浄、洗剤、保管の方法を学ぶことによって、自らの衣服の管理に活かせるようにする。	2	
11	被服の管理	洗浄の方法、洗剤の種類や使い方、保管の方法を学ぶ。			2	
12	被服の管理	被服の管理				2
		洗浄の方法、洗剤の種類や使い方、保管の方法を学ぶ。				
13	被服の管理	被服の管理				2
		洗浄の方法、洗剤の種類や使い方、保管の方法を学ぶ。				
14	被服材料	被服材料の分類を学ぶ。		自分が毎日着用する衣服の原材料に興味を持てるようにする。	2	
		～被服を構成するものの材料を中心に				
15	被服材料	被服材料			2	
		～被服を構成するものの材料を中心に				
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す。					

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 被服学（講義）		後期	教科担任：池田 恭仁子（実務経験教員）		
学科名：ファッション・プロモート科		コース：	1年	単位数：	2単位
授業のねらい	人間生活の基本である「衣」にまつわる様々な		前期	2H×15W=30H	
	事柄を学ぶことで被服の本質を知り、これから		後期	2H×15W=30H	
	の持続可能な衣生活とはどのようなものである		合計	60H	
	べきか自らの考えをまとめられるようにする。				
目指す検定・資格	被服概論(財団法人 職業訓練教材研究会)		教材費		
テキスト・教材	試験、授業態度、出席状況を総合して評価する				
評価方法	後期：課題 出席状況 学習態度等を総合し評		その他		
	価する				
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点		実時数
1	被服材料	天然由来の繊維にはどのような物があり、それぞ	この単元で身につけた知識を、製作や自らの衣生活に活かせるようになる。	2	
	～天然繊維～	れどのような性質を持つのかを学ぶ。			
2	被服材料	天然由来の繊維にはどのような物があり、それぞ		2	
	～天然繊維～	れどのような性質を持つのかを学ぶ。			
3	被服材料	天然由来の繊維にはどのような物があり、それぞ		2	
	～天然繊維～	れどのような性質を持つのかを学ぶ。			
4	被服材料	～人造繊維～		この単元で身につけた知識を、製作や自らの衣生活に活かせるようになる。	2
	～人造繊維～	人造繊維とは何か、どのような種類があり、どの			
5	被服材料	人造繊維とは何か、どのような種類があり、どの			2
	～人造繊維～	ような性質があるのかを学ぶ。			
6	被服材料	～人造繊維～			2
	～人造繊維～	人造繊維とは何か、どのような種類があり、どの			
7	被服材料	～人造繊維～		2	
	～繊維の構造～	繊維の形状と構造と特性を学ぶ。			
8	被服材料	毛皮、皮革にはどのようなものがあるのか、		2	
	～毛皮と皮革～	また、それぞれどのような性質があるのかを学ぶ。			
9	被服材料	分類の仕方とそれぞれの性質を学ぶ。	2		
	～糸～				
10	被服材料	分類の仕方とそれぞれの性質を学ぶ。	2		
	～糸～				
11	被服材料	織物の組織や、特性を学ぶ。	織物の組織や特性を学	2	
12	被服材料	織物の組織や、特性を学ぶ。	ぶことで、縫製に際し	2	
13	被服材料	織物の組織や、特性を学ぶ。	て適切な生地を選ぶ力	2	
14	被服材料	織物の組織や、特性を学ぶ。	が養われるよう留意する。	2	
15	被服材料	織物の組織や特性を学ぶことで、縫製に際して適	2		
		切な生地を選ぶ力が養われるよう留意する。			
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す。				

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名：洋服構成・製作1（基礎）（講義）		前期	教科担任：池田恭仁子（実務経験教員）		
学科名：ファッション・プロモート科		コース：FS	1・2年	単位数：	2単位
授業のねらい	和裁研究所での勤務経験をいかし指導する。ファッションの中心となる洋服が製作され販売されるまでのプロセスを理解し、お客様の心理をよく理解したうえで販売の技術を身に付ける。合わせて、商品の名称や素材などのちしきも身に付ける。		前期	2H×15W=30H	
			後期	2H×15W=30H	
			合計	60H	
目指す検定・資格	目標		教材費		
	取得可能な検定 ファッション販売能力検定3級				
テキスト・教材	ファッション販売III				
	ファッション販売能力検定試験問題集3級				
評価方法	前期 試験、授業態度、出席状況を総合して評価する		その他		
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点		実時数
1	ファッション販売知識		ファッションとは何か、興味を持って学べるよう留意する。		2
		ファッションとは何かを学ぶ			
2	ファッション販売知識		心地よく的確なサービスの提供を自分の身に置き換えて考えられよう留意する。		2
		販売スタッフに求められる知識と技術を学ぶ			
3	ファッション販売知識		業種、業態各々の違いを整理して把握できるよう留意する。		2
		ファッション小売業の業種と業態を学ぶ			
4	ファッション販売知識		店が持つ2つの機能やお客様に提供するサービスについて整理して学べるようにする。		2
		お客様にとって店とは何かを学ぶ			
5	ファッション販売知識		お客様から顧客になるプロセスを、順をおって学べるようにする。		2
		お客様について学ぶ			
6	ファッション販売知識		ライフスタイルショップとは何か具体例を探しながら学べるよう留意する。		2
		ライフスタイルショップの販売知識			
7	ファッション・マーケティング知識		マーケティングの用語を整理しながら学べるよう留意する。		2
		マーケティングの基礎知識を学ぶ			
8	ファッション・マーケティング知識		ファッション小売業にとっての店舗マーケティングの重要性が理解できるよう留意する。		2
		ファッション店舗のマーケティング			
9	ファッション・マーケティング知識		集めた情報の利用の仕方まで繋がるよう留意する。		2
		情報収集の目的と必要性を学ぶ			
10	ファッション販売業務		ファッション販売における見えにくい部分の仕事があることを理解し、興味が持てるよう留意する。		2
		販売業務と付帯業務について学ぶ			
11	ファッション販売業務		どのような備品が必要か、どのように利用するかを理解できるようにする。		2
		備品管理について学ぶ			
12	ファッション販売業務		様々な管理の仕方を整理して学べるよう留意する。		2
		商品管理について学ぶ			
13	ファッション販売業務		売上高、客単価、前年比、予算比などの計数を正しくつかむ力が身に着くようにする。		2
		店舗係数知識について学ぶ			
14	ファッション販売業務		ファッション販売に携わる人キャリアパスにはどのようなものがあるのかを知り、将来のキャリアプランに活かせるようにする。		2
		キャリアプランについて学ぶ			
15	検定対策		問題を解くことによって自分の苦手分野を見つけ、検定に向けて知識の教科を図る。		2
		過去問題を解いてみる。			
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す				

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名：洋服構成・製作1（基礎）（講義）		後期	教科担任：池田恭仁子（実務経験教員）		
学科名：ファッション・プロモート科		コース：FS	1・2年	単位数：2単位	
授業のねらい	和裁研究所での勤務経験をいかし指導する。ファッションの中心となる洋服が製作され販売されるまでのプロセスを理解し、お客様の心理をよく理解した上での販売の技術を身につける。合わせて、商品の名称や素材などの知識も身につける。		前期	2H×15W=30H	
			後期	2H×15W=30H	
			合計	60H	
目指す検定・資格	目標	取得可能な検定 ファッション販売能力検定3級	教材費		
テキスト・教材	ファッション販売Ⅲ				
	ファッション販売能力検定試験問題集3級				
評価方法	後期 試験、授業態度、出席状況を総合して評価する		その他		
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点		実時数
1	ファッション販売技術	販売スタッフのマナーを学ぶ	身だしなみや言葉遣いの大切さを学び、日々の生活から心がけていけるようにする。		2
2	ファッション販売技術	購買心理の理解と買い物の仕方を学ぶ	来店から購入に至る心の動きを学び、お客さまにとって心地よい接客とは何かを考える。		2
3	ファッション販売技術	接客の基本とコンサルティングサービスについて学ぶ	お客様にとって価値あるアドバイスとはどのようなものなのかを考える。		2
4	ファッション販売技術	包装と贈答のマナーを学ぶ	時代にあった包装の仕方や、伝統的な包装の仕方を習得する。		2
5	ファッション商品知識	アイテムの知識	個々のアイテムの名称や特徴を正確に把握することに留意する。		2
6	ファッション商品知識	インナーウェアと服飾雑貨	インナーウェアと様々な服飾雑貨の名称や特徴を正確に把握することに留意する。		2
7	ファッション商品知識	素材の種類と加工	衣服に使われる素材とその加工などに興味を持って学べるよう留意する。		2
8	ファッション商品知識	シルエットの知識	衣服のシルエットの変遷や、それぞれの魅力について興味を持って学べるよう留意する。		2
9	ファッション商品知識	衣服の構成とディテール	衣服のデザインを支えるディテールの名称や役割を理解し、正しく説明できるようにする。		2
10	ファッション商品知識	柄の種類と特徴	衣服の第一印象を決める色や柄を効果的に使いこなせるようになることに留意する。		2
11	ファッション商品知識	サイズの知識	様々なサイズ表記の基準を理解し、お客様の体形を判断して適切なサイズを選択できるようにすることに留意する。		2
12	ファッション商品知識	商品の品質管理	万が一製品に不備があった場合に備えて、その種類や原因、対処法を知る。		2
13	店舗演出・VP展開	店舗の環境づくりについて学ぶ	お客様の目に映るビジュアル表現としてのお店の在り方を考察できるよう留意する。		2
14	店舗演出・VP展開	マーチャндаイズプレゼンテーションについて学ぶ	商品のディスプレイについて、具体例を見ながら学ぶことに留意する。		2
15	検定対策	過去問題を解いてみる。	問題を解くことによって自分の苦手分野を見つけ、検定に向けて知識の教科を図る。		2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す				

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 洋裁構成・製作2（基礎）（実習）		前期	教科担任： 越尾薫（実務経験教員）	
学科名：ファッション・プロモート科		コース：FS	1年	単位数： 8単位
授業のねらい	縫製会社での実務経験がある指導者のもと、製図、裁断、縫製、の基礎レベルの技術を学び知識や技術を習得する。		前期	8H×15W=120H
	縫製方法を学び制作プロセスを理解する。		後期	8H×15W=120H
			合計	240H
目指す検定・資格	洋裁技術検定試験（初級）			
テキスト・教材	文化ファッション大系 服飾造形講座 印刷教材 洋裁道具		教材費	
評価方法	前期：試験・レポート・課題		その他	
	後期：試験・レポート・課題			
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	被服構成基礎	本縫いミシン ロックアイロンの名称と使い方	いろんなミシンの説明をする。	8
	用具の名称と使い方		用具の名称と使い方の説明をする。	
2	ミシンの基本操作	ミシンの使い方	縫い方について、実際縫った物を見ながらその都度説明をする。	8
		洋裁用具の使い方		
		手縫いの基礎		
3	手縫いピンクッション	手縫いでピンクッション	工夫して自分らしいピンクッションを作る。	8
4	エプロン作り	エプロン型紙トレース デザイン	作ることの楽しさを覚える。	8
		地直し 裁断 ポケット作り		
5	エプロン作り	エプロン型紙トレース デザイン	出来上がり、初めてのミシン使用を振り返る。	8
		地直し 裁断 ポケット作り		
6	エプロン仕上げ	エプロン仕上げ	記号の見方	8
	タイト原型製図1/4	タイト原型製図1/4	製図の書き方を指導する。	
		タイト原型の展開3型		
7	タイト原型の展開	記号の見方 縮尺の使い方	記号の見方	8
			製図の書き方を指導する。	
8	タイトスカート製図	確認テスト（技能初級）	タイトスカート製図	8
		タイト原寸製図	製図を正確にかけるようにする。	
		トワルドレーピング		
9	タイトスカート製図	補正 再組み立て	補正の仕方を学ぶ。	8
	ドレーピング補正			
10	製図完成	スカートの裁断 地直し	切りしつけは注意して布を切らないように注意する。	8
	タイトスカート裁断	切りしつけを学ぶ		
	工程分析（裏無し）			
11	タイトスカート工程	仮縫いの仕方	仮縫いも大事にする。	8
	ファスナー付け	スカートの逢い方	部分縫いもしっかり覚える。	
	ベンツ始末	ファスナー付け		
		ベンツ始末（部分縫） コンシール		
12	ベルト付け	まつり方	仕上げアイロン丁寧な作業を心がける。	8
	仕上げ	仕上げ		
		アイロンのかけ方		
13	サーキュラースカート	縫い方 裏縫い	サーキュラーはバイヤスです。ミシンかけに注意する。	8
	製図裁断（裏付）	ファスナー付（フラット）		
14	ベルト作り	ファスナー	楽しみながら2つの違いを見る。	8
		フラットとコンシールの違い		
15	裾まつり 仕上げ	裾まつり	裾まつり バイヤスに注意する。	8
		仕上げ		
その	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す。			

他

教科名： 洋裁構成・製作2（基礎）（実習）		後期	教科担任： 越尾薫（実務経験教員）	
学科名：ファッション・プロモート科		コース：FS	1年	単位数： 8単位
授業のねらい	縫製会社での実務経験のある指導者のもと、製図、裁断、縫製、の基礎レベルの技術を学び知識や技術を習得する。		前期	8H×15W=120H
	縫製方法を学び制作プロセスを理解する。		後期	8H×15W=120H
			合計	240H
目指す検定・資格	洋裁技術検定試験(初級)			
テキスト・教材	文化ファッション大系 服飾造形講座 印刷教材		教材費	
評価方法	後期 課題 出席状況 授業態度など総合して評価する。		その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	技能五輪2級課題	裁断 3着	枚数を何枚も縫う事で時間短縮になる	8
	長袖ブラウス			
2	技能五輪2級課題	裁断 3着	枚数を何枚も縫う事で時間短縮になる	8
	長袖ブラウス			
3	着製作	タイム設定	枚数を何枚も縫う事で時間短縮になる	8
	工程分析			
4	着製作	タイム設定	枚数を何枚も縫う事で時間短縮になる	8
	工程分析			
5	製作 2着	ミシンとアイロン工程のみ	枚数を何枚も縫う事で時間短縮になる	8
6	製作 2着	手仕事のみ	枚数を何枚も縫う事で時間短縮になる	8
7	原型のダーツ操作	色々なダーツ	枚数を何枚も縫う事で時間短縮になる	8
		操作をやってみる		
8	シャツブラウス製図	台衿付き シャツカラーケンボロ口前立て	枚数を何枚も縫う事で時間短縮になる	8
9	裁断～製作	袖口 ケンボロ 左右 間違わないようにしっかり覚える	ケンボロ左右間違えやすいので注意	8
10	仕上げ	ボタンホールの練習	ボタンホールは数を重ね練習し上手になる	8
11	仕上げ	ボタンホールの練習	ボタンホールは数を重ね練習し上手になる	8
12	ベスト製図	袖がないのでポケットも付けてみよう	部分縫いしたポケットをもう一度やってみよう	8
13	ベスト製図	袖がないのでポケットも付けてみよう	部分縫いしたポケットをもう一度やってみよう	8
14	ベスト製図	袖がないのでポケットも付けてみよう	部分縫いしたポケットをもう一度やってみよう	8
15	技術検定初級対策	製図でいい点数が取れる様指導する	技能検定取得を目指す	8
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す。			

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名：植物学1（実習）		前期	教科担任： 齋藤 美英(実務経験教員)	
学科名：ファッション・プロモート科		コース：FD	1年	単位数： 2単位
授業のねらい	植物の生涯の生き方、よりよい植物の成長のため環境の学習や実習と共に植物の成長過程を観察し、緑花栽培の役割やその環境など幅広く学習する。		前期	2H×15W=30H
			後期	2H×15W=30H
			合計	60H
目指す検定・資格	目標	取得可能な検定	教材費	
テキスト・教材	雑草手帳（東京書籍）			
		タネのふしぎ（サイエンスアイ）これでナットク 植物の謎（日本植物整理学会編集）		
評価方法	前期：試験 出席状況 授業態度など総合して評価する。		その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	植物を知る	病気の種類 原因の対策	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
2	植物を知る	病気の種類 原因の対策	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
3	植物を知る	病気の種類 原因の対策	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
4	土壌	植物の生育を促すよりよい土壌の概念	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
5	土壌	植物の生育を促すよりよい土壌の概念	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
6	土壌	植物の生育を促すよりよい土壌の概念	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
7	種子について	種子の役割・栄養 発芽のしくみ 種子の出来方	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
8	種子について	種子の役割・栄養 発芽のしくみ	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
9	種子について	種子の役割・栄養 発芽のしくみ 種子の出来方	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
10	種子について	種子の役割・栄養 発芽のしくみ 種子の出来方	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
11	種子について	種子の役割・栄養 発芽のしくみ 種子の出来方	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
12	コンテナへの根付	植物の生長の観察	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
13	さし芽 枝挿し	植物の生長の観察	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
14	1年生植物の種まき	植物の生長の観察	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
15	スプラウト栽培	植物の生長の観察	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名：植物学（実習）		前期	教科担任： 齋藤 美英(実務経験教員)	
学科名：ファッション・プロモート科		コース：FD	1年	単位数： 2単位
授業のねらい	植物の生涯の生き方、よりよい植物の成長のため環境の学習や実習と共に植物の成長過程を観察する。		前期	2H×15W=30H
			後期	2H×15W=30H
			合計	60H
目指す検定・資格	目標 取得可能な検定		教材費	
テキスト・教材	雑草手帳（東京書籍） タネのふしぎ（サイエンスアイ）これでナック 植物の謎（日本植物整理学会編集）			
評価方法	後期： 試験 出席状況 授業態度など総合して評価する。		その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	食用植物	各々な植物について学習する	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
	観葉植物			
2	食用植物	各々な植物について学習する	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
	観葉植物			
3	植物と人との地球環境の謎	地球環境における植物の果たす役割	教材で理解を深める。	2
4	植物の形状について	各植物の特徴を学習	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
5	植物の葉について	植物の葉の役割を学習	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
6	植物の花について	花の謎を考える	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
7	植物たちの自給自足生活の謎	植物成長のしくみを学習	教材で理解を深める	2
8	植物たちの自給自足生活の謎	植物成長のしくみを学習	教材で理解を深める。	2
9	植物たちの生育場所	様々なところに生育する植物を学習	教材で理解を深める。	2
10	植物たちの動きの謎	植物の動きの仕組みを学習	教材で理解を深める。	2
11	植物の繁殖の謎	植物の繁殖の仕組みを学習	教材で理解を深める。	2
12	コンテナへの植付け	植物の生長の観察	植物を観察することにより知識を深める。	2
13	さし芽 枝挿し	植物の生長の観察	植物を観察することにより知識を深める。	2
	植付け			
14	1年生植物の種まき	植物の生長の観察	植物を観察することにより知識を深める。	2
15	短日処理したワスレナグサの観察	植物の生長の観察	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： グリーンコーディネート1 (実習)		通期	教科担任： 山本幹雄 (実務経験教員)		
学科名： ファッション・プロモート科		コース： FD	1年	単位数： 4単位	
授業のねらい	ガーデン・デザインの基礎を、演習・課題等を織り交ぜながら学習する。		前期	4H×15W=60H	
	実習庭園での演習を行い、より深い植栽の知識を得る。		後期	4H×15W=60H	
			合計	120H	
目指す検定・資格	目標 取得可能な検定		教材費		
テキスト・教材	ガーデンデザイン入門 その他プリント・植物、教材庭園				
評価方法	前期： 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。		その他		
	後期： 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。				
時数	単元	授業内容 (細目)	学習上の留意点		実時数
1	オリエンテーション	授業概要、器具道具の設置場所の確認	実習内容の確認		4
		実習庭園の説明	実習庭園の確認		
			実習用品の確認		
2	栽培 撒種	植物の種類による、種の種類	植物の種類による様々な種まき方法の違いを学ぶ。		8
		まき方	種まき実習		
		実習			
3	栽培・管理	間引き、水遣り、肥料	植物の違いによる管理方法の違いを学ぶ。		8
		実習	管理実習		
4	栽培 植え付け	庭への植え付け	直植え・ポット植え等の方法を学ぶ。		8
		実習	植え付け方法の違いを学ぶ。		
5	鉢	種類、用法、管理	素材による違い、製法による違いなどを学ぶ。		4
		実習	種類を学ぶ		
6	用土	種類、用法、混合、	植物栽培の基本となる用土を知る。		4
		実習			
7	手入れ	水遣り、施肥、雑草の種類、害虫	庭園管理の方法を学ぶ		8
		実習	肥料・害虫駆除を学ぶ		
8	栽培・管理	庭園管理の実際	実習庭園を手入れする事で、庭園管理の実際を学ぶ。		12
		実習			
9	手入れ	庭園用の材料の実際	実習庭園を手入れする事で、日常的な庭園管理の実際を学ぶ。		8
		実習			
10	冬越し、施肥、	冬に備えた庭園・鉢の管理	冬・次年度に備えた庭の管理の方法を学ぶ。		8
		堆肥の作り方			
		実習			
11	栽培・剪定、植え替え	冬季間の手入れ、樹木の剪定	次年度に備えた土作り、清掃、		8
		鉢の植え替え、移動	樹形の整理を学ぶ。		
		実習	鉢植え植物の冬越しを学ぶ。		
12	ガーデンデザインの実際	庭の意味、発注からデザインまで	ガーデンデザインの為の庭園論		12
		フロントガーデン・メインガーデンの考え方	実際の受注から工事までの流れを学ぶ		
13	ガーデンデザインの実際Ⅱ	ゾーニング、動線計画	配置計画の仕方、庭園内での人の動きを学ぶ。		8
14	ガーデンデザインⅠ	草花・樹木の選定	植物の種類を学び、植栽計画の基本を学ぶ。		12
		ガーデンアイテムの選定	アイテムの種類を学ぶ		
		デザイン実習	実際のスケッチを起こす。		
15	ガーデンデザインⅡ	草花・樹木の選定	さらに深く植栽について学び、デザインに生かせるようになる。		8
		ガーデンアイテムの選定			
		デザイン実習			
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す				

他

教科名：ガーデニング製図1(実習)		通期	教科担任：山本幹雄 (実務経験教員)	
学科名：ファッション・プロモート科		コース：FD	1年	単位数：3単位
授業のねらい	建築系で住宅設計の実務経験を持つ指導者の下、ガーデニングに必要な製図の知識・技術を指導し、実際に製図を行いながらガーデニング製図に必要な		前期	4H×15W=60H
	知識を学習する。また、課題制作により製図技術を習得する。		後期	2H×15W=30H
			合計	90H
目指す検定・資格	目標 取得可能な検定		教材費	
テキスト・教材	やさしい造園図面の描き方 その他プリント等 製図用品			
評価方法	前期：試験 ・レポート・課題 授業態度 出席 状況を総合する。		その他	
	後期：試験 ・レポート・課題 授業態度 出席 状況を総合する。			
時数	単元	授業内容(細目)	学習上の留意点	実時数
1	オリエンテーション	製図とは何か	製図用具の扱い方	6
		製図用具の使い方	JIS規格について	
		設計とは	製図することの意味	
2	線の練習	基本的な線の練習	正しい線・製図用具を使った線	6
		定規を使った線・フリーハンドの線	実線・一点鎖線・破線	
		作図法	作図方法・図学について	
		実習	線の練習	
3	基本作図	文字・数字	図面上の文字について	8
		作図課題に基づいた基本図形の作図実習	JIS規格の文字	
		課題	数字・文字の練習	
4	設計図書	ガーデンデザインに必要な設計図書とは	設計図書までの流れ	8
		JIS規格に基づく製図とは	ガーデニングに必要な図面	
			設計図の伝えるもの	
5	平面図・配置図	平面図・配置図の意味	平面図・配置図に描くもの	8
		平面図・配置図の模写	実際の平面図を模写してみる	
		課題図面		
6	寸法・縮尺・	図面のスケールとは	寸歩記入の方法	8
		縮尺の計算	縮尺の計算三角スケールを使う	
7	植栽図	植栽・草花・ファニチャー等の練習	植栽の描き方の実習	8
		平面・立面での描写	点景の描き方の実習	
		作図実習	立面の表現を実習	
8	立面図	立面図とは	立面図に描くもの	8
		立面図の描き方	実際の立面図を描いてみる	
		模写		
9	後期 ガーデン実習	ガーデン見学	近郊のガーデンを見学してみる	8
		実際の庭をスケッチに起こす	写真撮影	
			スケッチをしてみる	
10	断面図	断面図とは	断面図に描くもの	4
		断面図の描き方	実際の断面図を模写してみる	
		模写		
11	パース	パースの作図方法	鳥瞰図の描き方を学ぶ	4
		作図実習	作図を行う	
12	作家研究	ガーデンデザイナーの作品を研究し	有名作家の手法を学ぶ	4
		その手法を学ぶ	分析の方法を学ぶ	
		レポート	レポートの書き方を学ぶ	
13	模写	今までの学習に基づいて庭園図面の模写	より高度なガーデニング図面の模写	4
14	模写	今までの学習に基づいて庭園図面の模写	より高度なガーデニング図面の模写	4
15	予備	演習等	補修項目	4
そ				

の
他

授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す

教科名：PC活用2（演習）		通期	教科担任：江口 優一朗		
学 科 名 ファッション・プロモート科		コース：	2年	単位数：2単位	
授業のねらい		コンピュータを扱う上では欠かせないインターネット社会についての知識を身につけ、検定の受検により知識の定着を図る。Word2019およびExcel2019の基礎から応用までの技法を学び到達段階ごとに検定の受験により技術の定着を図る。		前期 2H×15W = 30H 後期 2H×15W = 30H 合計 60H	
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定 Word, Excel 1級、2級、3級		教材費	
テキスト・教材		Word2019クイックマスター基本編、応用編 Excel2019クイックマスター基本編、応用編			
評価方法		前期 実技試験、課題 後期 実技試験、課題		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	文書作成ソフトの概要 Wordの概要	文書作成ソフトとは 文書作成ソフトでできること Wordの概要		文書作成ソフトの概要を理解する	2
2	Wordの基本操作	Wordの起動方法、画面構成、既存の文書の開き方、画面操作、 表示モードの切り替え、終了方法		Wordの基本操作をマスターする	2
3	Wordでの効率的な文字入力	新規文書の作成、入力システムの概要・切り替え、文書の保存		効率的な文字入力をマスターする	2
4	文書の編集	ページの書式設定、文字の書式設定、字下げ・行間の設定、禁則処理、罫線・網掛けの設定		文書のレイアウトを整える方法をマスターする	2
5	文書の印刷	改ページの挿入、ヘッダーとフッターの設定、印刷イメージの確認方法、印刷の実行		ワンクリックで効率よく印刷する方法をマスターする	2
6	文書の作成	機能を活用したあいさつ文の挿入方法、段落番号・箇条書きの設定、タブとインデント、ビジネス文書のレイアウト		ビジネス文書の効率的な作成法をマスターする	2
7	↓	↓		↓	2
8	表を用いた文書作成	表の作成、表の編集、表の装飾		見やすい表の作成法をマスターする	2
9	↓	↓		↓	2
10	図形や画像を用いた文書の作成	ワードアート・画像の挿入と編集、図形の作成・編集、テキストボックスの作成、アイコンの活用		様々な視覚効果を使いチラシを作成出来るようにする	2
11	↓	↓		↓	2
12	実践的なビジネス文書の作成	実務を想定した文書の作成、メールで文書を送る際のマナー		これまでの学習の総まとめとして知識の定着を図る	2
13	↓	↓		↓	2
14	チラシの作成	グラフィック機能を活用したチラシの作成		オリジナリティのあるチラシを作成する。	2
15	↓	↓		↓	2
16	表計算ソフトの概要 Excelの概要	表計算ソフトとは 表計算ソフトでできること Excelとは		表計算ソフトの概要を理解	2
他	その	単元ごとに実習課題を課す			

教科名：ファッションデザイン2（講義）		前期	教科担任：沼澤 玲菜(実務経験教員)	
学科名：ファッション・プロモート		コース：FS	1、2年	単位数：2単位
授業のねらい	イラストレーターの実務経験を活かし、クリエイティブな感性と想像力の強化を図り魅力的なデザイン画が描けるように指導する。		前期	2H×15W=30H
			後期	2H×15W=30H
			合計	60H
目指す検定・資格	目標 取得可能な検定		教材費	
テキスト・教材	ファッションデザインテクニック			
評価方法	前期：課題、授業態度、出席状況を総合して評価する		その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	ドローイング基礎1	テーマ好きな物+春	自由に描く	2
2	自己紹介	自己紹介カード作成 発表	自己開示 自己表現 コミュニケーション能力を養う	2
3	似顔絵	ペアになってお互いの似顔絵を描く	相手をよく観察して描く	2
4	スケッチ1	花のスケッチ	よく観察して描く	2
5	クロッキー1	3分クロッキー	複のコーディネートや素材を観察	2
6	スケッチ2	3分クロッキー	複のコーディネートや素材を観察	2
7	クロッキー2	3分クロッキー	複のコーディネートや素材を観察	2
8	スケッチ3	3分クロッキー	複のコーディネートや素材を観察	2
9	クロッキー3	3分クロッキー	複のコーディネートや素材を観察	2
10	ドローイング1	8頭身のプロポーション	コンテスト提出に向けて	2
11	ドローイング2	着装	人体と布の関係 光と影の方向性と素材感の出し方の研究	2
12	ドローイング3	ポーズと着装	ドレープ シワの出し方 その表現方法を試す	2
13	ドローイング4	彩色	絵の具の使い方、デザイン画作成のプロセスの体験	2
14	ドローイング5	彩色	絵の具の使い方、デザイン画作成のプロセスの体験	2
15	ドローイング6	彩色	絵の具の使い方、デザイン画作成のプロセスの体験	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

教科名：ファッションデザイン2（講義）		後期	教科担任：沼澤 玲菜（実務経験教員）			
学科名：ファッション・プロモート		コース：FS	1年	単位数：	2 単位	
授業のねらい	服飾デザイナーの実務経験を活かし、ファッションデザインに必要な基礎を、デザイン画として表現することを通じて学び指導する。さらにクリエイティブな感性と企画力の強化をはかり、実践的なビジネス力を身につけることを目指す。		前期	2H×15W=30H		
			後期	2H×15W=30H		
			合計	60H		
目指す検定・資格	目標 コンテスト		教材費			
	取得可能な検定 ファッションビジネス能力検定試験3級					
テキスト・教材	ファッションデザインテクニック					教材費
	ファッションビジネス1（3級準拠）					
	ファッションビジネス能力検定試験3級項目別試験問題・解答集					
評価方法	後期： 課題、授業態度、出席状況を総合して評価する		その他			
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点			実時数
1	アイラム平図 1	作成可能なデザイン画の基礎としてカットソー、ブラウス	製図制作方法の情報がわかるデザイン画作成の方法を基礎から学ぶ。			2
2	アイラム平図 2	シャツ スカート 平面図 アイテム研究	アイテムの種類や歴史を調べ描き方のバリエーションを広げる。			2
3	アイラム平図 3	ワンピース 平面図 アイテム研究	上下のバランスのとり方を寸法の割り出し方を学ぶ。			2
4	アイラム平図 4	ジャケット スーツ 平面図 アイテム研究	伝統的な服作りの情報の代表であるジャケットを学ぶ。			2
5	アイラム平図 5	ジャンパー 平面図 アイテム研究	機能性による衣服の変化 デザインを考慮する。			2
6	アイラム平図 6	パンツ コート 平面図 アイテム研究	コートの種類や歴史も一緒に学ぶ。			2
7	アイラム平図 7	着色 素材の描き分け	柄 テック 千鳥 ツイード 皮などの素材を描いてみる。			2
8	ドローイング5	ポーズと着装の基礎	ポーズをとった時の服の変化			2
9	ドローイング6	ポーズバリエーション	様々なポーズを描いてみる。			2
10	ドローイング7	ポーズバリエーション	様々なポーズを描いてみる。			2
11	ブランド創造1	イメージ SD法 配色	イメージを表現する2つの配色をする。			2
12	ブランド創造2	配色と形、素材のイメージ	SD法の表上で分析する。さらに形と素材のイメージを分析する。			2
13	ブランド創造3	ブランドを調べる	ブランドのコンセプト、デザイン企画、販売を調べる。			2
14	企画書作成1	ブランドを創る	企画書の作成 ワークシート企画書を作ってみる。			2
15	企画書作成2	ブランドを創る	ブラッシュアップ 発表			2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す					

教科名： アロマセラピー2（講義）		前期	教科担任： 山本絵里子(実務経験教員)	
学科名：ファッション・プロモート科		コース：BC FD	2年	単位数： 2単位
授業のねらい	実務経験のある指導者のもと、アロマセラピーとは何かを理解し健康に日常生活の質を上げるために香りをどのように活用していったらよいかの基礎を学ぶ。2年次5月の検定取得のための基礎知識を学ぶ。また、マッサージ（トリートメント）の基礎的技術手法を身につける。		前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H	
目指す検定・資格	目標 日本アロマ環境協会1級、2級アロマセラピー検定（2年次5月受験） 取得可能な検定 日本アロマ環境協会アドバイザー（2年次6月講習取得） 環境カオリスト検定		教材費	
テキスト・教材	日本アロマ環境協会1級・2級アロマセラピー検定テキスト\2,592 アロマ検定問題集合格テキスト&模擬問題 アロマセラピー検定公式問題集 印刷教材			
評価方法	前期： 試験 ・課題 授業態度、出席状況を総合して評価する。		その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	ドローイング基礎1	デザイン概論 道具の使い方、基礎ドローイング	教科の目的の認識 導入編としてデザインとアートについての考案。	2
2	ドローイング基礎2	色、素材 アイテム知	簡単にかける方法を試して自信をつける。人台を基に服を載せていく。	2
3	イメージ基礎1	イメージボード作成 素材収集	自分の興味の認識 雑誌やチラシを切り抜いて収集する。	2
4	イメージ基礎2	素材収集、選別	テーマの抽出 イラストボードに配置して完成図を検討する。	2
5	イメージ基礎3	ボード構成	構成の技術 テーマを言葉に変換する。400字以内の説明と20字以内のコピー。	2
6	イメージ基礎4	プレゼン SD法の解説 実習	発表の経験 イメージを分析できるように知識としてまとめる	2
7	デザイン発想 ファッション造形1	立体裁断の基礎	絵と布の関係 デザイン発想 ダーツの処理の仕方。	2
8	ファッション造形2	ピンワーク	絵と布の関係 スケッチを基に布を人台に合わせピンで止めて形を作っていく	2
9	ファッション造形3	制作	型取りの方法から制作までの過程。布を平に付け型紙を制作する。	2
10	ファッション造形4	制作	作品として完成させる。もう一度布を組み立て作品にする。	2
11	ファッション造形5	スケッチ 構成	PCの使い方 完成した作品をスケッチする。作品を撮る。	2
12	ドローイング1	8頭身のプロポーション	人体、寸法の理解 頭身の知識と8頭身のプロポーションを実技で作成してみる。	2
13	ドローイング2	着装	人体と布の関係 光と影の方向性と素材感出し方を研究する。	2
14	ドローイング3	ポーズと着装	ドレープ、シワの出方 その表現方法を試す。	2
15	ドローイング4	彩色	絵の具の使い方 デザイン画作成のプロセスを体験。階段を踏んで完成させる。	2
そ				

の
他

授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す

教科名： アロマセラピー（講義）		後期	教科担任：山本絵里子(実務経験教員)		
学科名：ファッション・プロモート科		コース：BC FD	2年	単位数： 2単位	
授業のねらい		実務経験のある指導者のもと、アロマセラピーとは何かを理解し健康に日常生活の質を上げるために香りをどのように活用していったらよいかの基礎を学ぶ。2年次5月の検定取得のための基礎知識を学ぶ。また、マッサージ（トリートメント）の基礎的技術手法を身につける。		前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H	
目指す検定・資格		目標 日本アロマ環境協会1級、2級アロマセラピー検定（2年次5月受験） 取得可能な検定 日本アロマ環境協会アドバイザー（2年次6月講習取得） 環境カオリスト検定		教材費	
テキスト・教材		日本アロマ環境協会1級・2級アロマセラピー検定テキスト \2,592 アロマ検定問題集合格テキスト&模擬問題 2376円 アロマセラピー検定公式問題集 1,404円 印刷教材			
評価方法		後期： 試験 ・課題 授業態度、出席状況を総合して評価する。		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	アロマセラピーの基本	アロマセラピーを安全に使うための注意と利用法 実習 芳香浴		健康に活かし、安全に楽しむためにプロとして指導するために何度も注意を確認しておく。	2
2	アロマセラピーを生活に取り入れる。	空間づくりのためにアロマの効果を活用しながら空間を清潔に保つ。		ただの空間演出だけでなく、心理的、科学的根拠を理解して体にも環境にもやさしいアロマを使う。	2
3	エッセンシャルオイルの特性	エッセンシャルオイルの化学性と性質の違いを理解する。		エッセンシャルオイルのそれぞれの香りから受ける印象を大切に、特色を覚える。	2
4	基材の化学性	有機化合物とは何か、基材の種類と特性を理解し、使う目的や肌質に合わせる。		エッセンシャルオイルの成分が塩基により特性、名称が変わることを理解する。	2
5	実習	バスソルトを作る。 重曹、クエン酸の役割と効用		症状を改善するためにエッセンシャルオイルと基材の組み合わせを応用する。	2
6	実習	香りで涼しさを演出する手法を学ぶ ハーブアレンジメント+保水ジェル+ミント		体感温度にも影響を及ぼすことができる。より涼しさを演出する。	2
7	健康学	身体を整えるしくみや身体作り(栄養、運動、病気)を知る。		人間の持つ恒常性を十分に引き出し、健康を守るために栄養、運動、休養が必要である。	2
8	健康学 内臓	身体の器官(内臓)について知る		内臓、器官がどのような働きで、どこにあるか、自分の体に責任を持つ	2
9	健康学 病気	メタボリックシンドローム、ロコモシンドローム高血圧、梗塞などどのような成人にどんな病気が起こるかを知る		中高年以降起こりやすい病気の原因と予防について知る。	2
10	健康学 女性特有の病気	女性に起こりやすい、女性器官と特有の病気について理解する。		更年期以降女性のホルモンバランスがくずれ起こる病気について知る。	2
11	健康学 神経	交感神経と副交感神経、脳と神経についてしくみを学ぶ		言葉は聞いたことがあるが理解できていない部分を理解する。	2
12	健康学 ストレス	ストレスとは何か、ストレスの軽減、コントロールの方法について理解する(自律神経の働き含む)		ストレスの軽減についてアロマセラピーが心理的に有効であることを知る。	2
	健康学				

13	睡眠	健康を守るためには休養と睡眠が必要であり、睡眠についてのしくみを理解する。睡眠のサイクル、NON-REM睡眠の特色を知る。	仲益との関係、人間にとって健康維持に大切な睡眠であることを理解する。	2
14	健康学 運動効果	運動効果について理解する。 運動の種類と効果を知り、病気の予防と改善に活かす。	病気を予防するうえでも、生活の質を上げるうえでも必要な知識を得る。	2
15	健康学 栄養	栄養バランスを理解する。 6大栄養素とは、カロリーとの関係など基礎的知識を得る。	人間が生きていくために食事の栄養不可欠であり、働きについて認識を持たせる。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

教科名： 被服学（講義）		前期	教科担任： 池田 恭仁子（実務経験教員）		
学科名：ファッション・プロモート科		コース：ファッション きもの	1年	単位数： 2単位	
授業のねらい		人間生活の基本である「衣」にまつわる様々な事柄を学ぶことで被服の本質を知り、これからの持続可能な衣生活とはどのようなものであるべきか自らの考えをまとめられるようにする。		前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H	
目指す検定・資格				教材費	
テキスト・教材		被服概論(財団法人 職業訓練教材研究会)			
評価方法		試験、授業態度、出席状況を総合して評価する		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	被服の起源	人類が被服を纏うようになったのはなぜか、現在考えられているいくつかの要因を紹介する。			2
2	被服の目的	身体保護の観点と社会生活の観点から考える。		それぞれの目的を自分の生活に照らし合わせて理解することに留意する。	2
3	被服の目的	身体保護の観点と社会生活の観点から考える。			2
4	被服の目的	身体保護の観点と社会生活の観点から考える。			2
5	被服の分類	形態の変化、生活様式などの観点からの分類を学ぶ。		被服の分類の仕方が視点によって変わることに気づかせる。	2
6	被服の分類	形態の変化、生活様式などの観点からの分類を学ぶ。			2
7	被服の種類	日本人が着用する様々な被服を学ぶ。日本人が着用する被服の多様性に目を向けさせ、違いを理解できるようにする。		日本人が着用する被服の多様性に目を向けさせ、違いを理解できるようにする。	2
8	被服の種類	日本人が着用する様々な被服を学ぶ。			2
9	被服の種類	日本人が着用する様々な被服を学ぶ。			2
10	被服の管理	洗浄の方法、洗剤の種類や使い方、保管の方法を学ぶ。		様々な洗浄、洗剤、保管の方法を学ぶことによって、自らの衣服の管理に活かせるようにする。	2
11	被服の管理	洗浄の方法、洗剤の種類や使い方、保管の方法を学ぶ。			2
12	被服の管理	被服の管理 洗浄の方法、洗剤の種類や使い方、保管の方法を学ぶ。			2
13	被服の管理	被服の管理 洗浄の方法、洗剤の種類や使い方、保管の方法を学ぶ。			2
14	被服材料	被服材料の分類を学ぶ。 ～被服を構成するものの材料を中心に		自分が毎日着用する衣服の原材料に興味を持てるようにする。	2
15	被服材料	被服材料 ～被服を構成するものの材料を中心に			2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す。				

他	

教科名： 被服学（講義）		後期	教科担任：池田 恭仁子（実務経験教員）		
学科名：ファッション・プロモート科		コース：	1年	単位数： 2単位	
授業のねらい		人間生活の基本である「衣」にまつわる様々な事柄を学ぶことで被服の本質を知り、これからの持続可能な衣生活とはどのようなものであるべきか自らの考えをまとめられるようにする。		前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H	
目指す検定・資格		被服概論（財団法人 職業訓練教材研究会）		教材費	
テキスト・教材		試験、授業態度、出席状況を総合して評価する			
評価方法		後期：課題 出席状況 学習態度等を総合し評価する		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	被服材料 ～天然繊維～	天然由来の繊維にはどのような物があり、それぞれどのような性質を持つのかを学ぶ。		この単元で身につけた知識を、製作や自らの衣生活に活かせるようになる。	2
2	被服材料 ～天然繊維～	天然由来の繊維にはどのような物があり、それぞれどのような性質を持つのかを学ぶ。			2
3	被服材料 ～天然繊維～	天然由来の繊維にはどのような物があり、それぞれどのような性質を持つのかを学ぶ。			2
4	被服材料 ～人造繊維～	～人造繊維～ 人造繊維とは何か、どのような種類があり、どのような性質があるのかを学ぶ。		この単元で身につけた知識を、製作や自らの衣生活に活かせるようになる。	2
5	被服材料 ～人造繊維～	人造繊維とは何か、どのような種類があり、どのような性質があるのかを学ぶ。			2
6	被服材料 ～人造繊維～	～人造繊維～ 人造繊維とは何か、どのような種類があり、どのような性質があるのかを学ぶ。			2
7	被服材料 ～繊維の構造～	繊維の形状と構造と特性を学ぶ。		個々の繊維の形状の違いや特性の違いに興味を抱けるよう留意する。	2
8	被服材料 ～毛皮と皮革～	毛皮、皮革にはどのようなものがあるのか、また、それぞれどのような性質があるのかを学ぶ。		毛皮、皮革が持つ様々な特性を理解し、私たち人間がそれらを利用する意味や、利用の是非について考えを深められるようにする。	2
9	被服材料 ～糸～	分類の仕方とそれぞれの性質を学ぶ。		個々の糸の構造や、特性を理解し、使用に際して適切な糸を選ぶ力を養えるようにする	2
10	被服材料 ～糸～	分類の仕方とそれぞれの性質を学ぶ。			2
11	被服材料	織物の組織や、特性を学ぶ。		織物の組織や特性を学ぶことで、縫製に際して適切な生地を選ぶ力が養われるよう留意する。	2
12	被服材料	織物の組織や、特性を学ぶ。			2
13	被服材料	織物の組織や、特性を学ぶ。			2
14	被服材料	織物の組織や、特性を学ぶ。			2
15	被服材料	織物の組織や特性を学ぶことで、縫製に際して適切な生地を選ぶ力が養われるよう留意する。			2

その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す。
-----	--------------------------

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 植物学（講義）		前期	教科担任： 齋藤 美英 （実務経験教員）	
学科名：ファッション・プロモート科		コース：FD	2年	単位数： 2単位
授業のねらい	植物の生涯の生き方、よりよい植物の成長のため環境の学習や実習と共に植物の成長過程を観察する。		前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H	
目指す検定・資格	目標 取得可能な検定		教材費	
テキスト・教材	雑草手帳 タネのふしぎ これですくも 植物の謎			
評価方法	前期：試験、授業態度、出席状況、道具の準備等を総合して評価する		その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	植物の病気	病気の種類 原因の対策	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
2	植物の病気	病気の種類 原因の対策	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
3	植物の病気	病気の種類 原因の対策	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
4	土壌	植物の生育を促すよりよい土壌の概念	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
5	土壌	植物の生育を促すよりよい土壌の概念	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
6	土壌	植物の生育を促すよりよい土壌の概念	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
7	種子について	種子の役割・栄養 発芽のしくみ 子の出来方	種 教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
8	種子について	種子の役割・栄養 発芽のしくみ 子の出来方	種 教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
9	種子について	種子の役割・栄養 発芽のしくみ 子の出来方	種 教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
10	種子について	種子の役割・栄養 発芽のしくみ 子の出来方	種 教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
11	種子について	種子の役割・栄養 発芽のしくみ 子の出来方	種 教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
12	コンテナへの根付	植物の生長の観察	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
13	さし芽 枝挿し	植物の生長の観察	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
14	1年生植物の種まき	植物の生長の観察	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
15	スプラウト栽培	植物の生長の観察	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

教科名： 物学（講義）		後期	教科担任： 齋藤 佳美	
学科名：ファッション・プロモート科		コース：	2年	単位数： 2単位
授業のねらい	植物の生涯の生き方、よりよい植物の成長のため環境の学習や実習と共に植物の成長過程を観察する。		前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H	
目指す検定・資格	目標 取得可能な検定		教材費	
テキスト・教材	雑草手帳 タネのふしぎ これでナットク 植物の謎			
評価方法	後期： 試験、授業態度、出席状況、道具の準備等を総合して評価する		その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	植物の病気	病気の種類 原因の対策	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
2	植物の病気	病気の種類 原因の対策	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
3	植物の病気	病気の種類 原因の対策	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
4	土壌	植物の生育を促すよりよい土壌の概念	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
5	土壌	植物の生育を促すよりよい土壌の概念	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
6	土壌	植物の生育を促すよりよい土壌の概念	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
7	種子について	種子の役割・栄養 発芽のしくみ の出来方	種子 教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
8	種子について	種子の役割・栄養 発芽のしくみ の出来方	種子 教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
9	種子について	種子の役割・栄養 発芽のしくみ の出来方	種子 教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
10	種子について	種子の役割・栄養 発芽のしくみ の出来方	種子 教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
11	種子について	種子の役割・栄養 発芽のしくみ の出来方	種子 教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
12	コンテナへの根付	植物の生長の観察	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
13	さし芽 枝挿し	植物の生長の観察	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
14	1年生植物の種まき	植物の生長の観察	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
15	スプラウト栽培	植物の生長の観察	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名：グリーンコーディネート2(実習)		通期	教科担任：山本幹雄（実務経験教員）	
学科名：ファッション・プロモート科		コース：FD	2年	単位数：4単位
授業のねらい	ガーデン・デザインの基礎を、演習・課題等を織り交ぜながら学習する。 実習庭園での演習を行い、より深い植栽の知識を得る。		前期 4H×15W=60H 後期 4H×15W=60H 合計 120H	
目指す検定・資格	目標 取得可能な検定		教材費	
テキスト・教材	ガーデンデザイン入門 その他プリント・植物、教材庭園			
評価方法	前期： 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。 後期： 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。		その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	オリエンテーション	授業概要、器具道具の設置場所の確認 実習庭園の説明	実習内容の確認 実習庭園の確認 実習用品の確認	4
2	栽培 撒種	植物の種類による、種の種類 まき方 実習	植物の種類による様々な種まき方法の違いを学ぶ。 種まき実習	8
3	栽培・管理	間引き、水遣り、肥料 実習	植物の違いによる管理方法の違いを学ぶ。 管理実習	8
4	栽培 植え付け	庭への植え付け 実習	直植え・ポット植え等の方法を学ぶ。 植え付け方法の違いを学ぶ。	8
5	鉢	種類、用法、管理 実習	素材による違い、製法による違いなどを学ぶ。 種類を学ぶ	4
6	用土	種類、用法、混合、 実習	植物栽培の基本となる用土を知る。	4
7	手入れ	水遣り、施肥、雑草の種類、害虫 実習	庭園管理の方法を学ぶ 肥料・害虫駆除を学ぶ	8
8	栽培・管理	庭園管理の実際 実習	実習庭園を手入れする事で、庭園管理の実際を学ぶ。	12
9	手入れ	庭園用の材料の実際 実習	実習庭園を手入れする事で、日常的な庭園管理の実際を学ぶ。	8
10	冬越し、施肥、	冬に備えた庭園・鉢の管理 堆肥の作り方 実習	冬・次年度に備えた庭の管理の方法を学ぶ。	8
11	栽培・剪定、植え替え	冬季間の手入れ、樹木の剪定 鉢の植え替え、移動 実習	次年度に備えた土作り、清掃、 樹形の整理を学ぶ。 鉢植え植物の冬越しを学ぶ。	8
12	ガーデンデザインの実際	庭の意味、発注からデザインまで フロントガーデン・メインガーデンの考え方	ガーデンデザインの為の庭園論 実際の受注から工事までの流れを学ぶ	12
13	ガーデンデザインの実際Ⅱ	ゾーニング、動線計画	配置計画の仕方、庭園内での人の動きを学ぶ。	8
14	ガーデンデザインⅠ	草花・樹木の選定 ガーデンアイテムの選定 デザイン実習	植物の種類を学び、植栽計画の基本を学ぶ。 アイテムの種類を学ぶ 実際のスケッチを起こす。	12
15	ガーデンデザインⅡ	草花・樹木の選定 ガーデンアイテムの選定 デザイン実習	さらに深く植栽について学び、デザインに生かせるようになる。	8
その ..	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

教科名：ガーデニング製図2（実習）		通期	教科担任：山本幹雄（実務経験教員）	
学科名：ファッション・プロモート科		コース：FD	単位数：	4単位
授業のねらい	自然派個性住宅設計での実務経験を活かし、ガーデニングに必要な製図の知識・技術を指導し、製図法に則った図面の作成、課題制作によりガーデニング技法を習得する。		前期 4H×15W=60H 後期 4H×15W=60H 合計 120H	
目指す検定・資格	目標 取得可能な検定		教材費	
テキスト・教材	やさしい造園図面の描き方 ガーデンデザイン入門 その他プリント等 製図用品			
評価方法	前期： 試験 ・ レポート ・ 課題 後期： 試験 ・ レポート ・ 課題		その他	
時数	指導内容	指導上の留意点	学習上の留意点	実時数
1	ガーデンデザインとは	ガーデニングの可能性 生活と庭・建物と庭	生活の場としての庭を考える 建築と庭の関係性	8
2	ガーデンデザインの歴史	庭の意味 空間の意味 スケール意味	生活の場としての庭 街を構成する庭 ヒューマンスケール	8
3	日本庭園史	日本における庭の歴史 日本の庭の意味 代表的な日本庭園	日本の庭の歴史 室町・鎌倉・江戸・近代・現代	8
4	西洋庭園史	西洋各国における庭の歴史 西洋における庭の意味 有名庭園を知る	ヨーロッパの庭、アジアの庭 階級社会と庭 代表的な庭の研究	8
5	ガーデンデザイン基礎	受注から施工まで 平面図・配置図の実際	受注から施工までの流れを学ぶ。施工図を読む	8
6	コンセプト	コンセプト・設計主旨とは プレゼンテーション	設計主旨とは何かを理解する 売れ前テーションの方法論	8
7	デザイン発想の方法	0からは何も生まれない 知識と感性 発想の方法論	デザインをすることとは デザインの方法論	8
8	ゾーニング	配置 人間の動線 流れ 課題	配置のプランニングの方法論 正しい配置とは 人の流れを考える	8
9	空間とスケール	ヒューマンスケール 空間とは 氣勢	使える寸法とは 空間が人間に与える影響 庭の流れ（軸・方向）	8
10	素材・材料	様々なガーデニングに使われる素材の種類と 利用方法 コンクリート・木材・塗料等	木材・金属・石材・塗料・配管等を学ぶ	8
11	色彩とデザイン	植物の色・素材の色 色の与える影響 色と塗装 塗装実習	ガーデニングにおける色彩の利用。色彩によるイメージの変化 光の利用	8
12	モチーフとデザイン	形とデザインの関係 配置と人間の行動の関係 作成実習	配置による人の流れ、行動の変化。15センチの影響	8
13	ガーデンデザイン	今までの学習に基づいて庭園図面の作成 作図実習	配置、色、素材に注意し、大まかなデザインを試みる	8
14	植栽図	今までの学習に基づいた植栽図の作成 作図実習	前項の図面に尺再掲を施してみる	8
15	予備		補習授業	8
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

教科名： フラワーアレンジ2（実習）		前期	教科担任： 齋藤 美英（実務経験教員）	
学科名：ファッション・プロモート科		コース：FD	2年	単位数： 2単位
授業のねらい	フラワーアレンジメントデザイナーの実務経験を活かし、フラワーアレンジメント・コサージュ・ブーケなど日常様々な場面で花を飾り生活をより豊かにする技術を学び習得できるように指導する。		前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H	
目指す検定・資格	目標 取得可能な検定 フラワー装飾技術検定3級		教材費	
テキスト・教材	フラワー装飾技能検定試験テキスト			
評価方法	前期： 試験 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。		その他	
時数	指導内容	指導上の留意点	学習上の留意点	実時数
1	アレンジメント説明	花を扱うときの注意点 道具について	アレンジメントを理解する。 作り方のポイントをしっかりとつかむ。	2
2	花束 ラウンド	花束を均等に配置し葉物をクッションとして円形に作成する。	花の配置を正しく理解する。 スパイラルテクニックを覚える。	2
3	花束 ラウンド	花束を均等に配置し葉物をクッションとして円形に作成する。	展開は150度から190度になるように制作する。	2
4	リボン	ループの形 ループの長さ とめつけ用リボンの形	汚れたりしわがよったりしない様に花束を製作する前に作る。	2
5	リボン	ループの形 ループの長さ とめつけ用リボンの形	左右対称に寸法を測定して製作する。	2
6	バスケットアレンジ	大輪系の花で骨組み部分を形作る。 吸水性フォームにドームのアレンジメントを製作。	吸水性フォーム 段階の骨格を理解する。	2
7	バスケットアレンジ	大輪系の花で骨組み部分を形作る。 吸水性フォームにドームのアレンジメントを製作。	底辺が水平になるようにする。花を平均に配置する。	2
8	バスケットアレンジ	大輪系の花で骨組み部分を形作る。 吸水性フォームにドームのアレンジメントを製作。	バラ(大輪系)のみ繰り返し練習する。 底辺が水平になるようにする。花を平均に配置する。	2
9	バスケットアレンジ	大輪系の花で骨組み部分を形作る。 吸水性フォームにドームのアレンジメントを製作。	バラ(大輪系)のみ繰り返し練習する。	2
10	ブートニア	二等辺三角形のブートニア	花の向きに注意する。 機能的、安全性 フィット感に注意して製作する。	2
11	ブートニア	二等辺三角形のブートニア	棒とりつけのワイヤーに注意する。 機能的、安全性 フィット感に注意して製作する。	2
12	技能検定課題	花束の製作	決められた寸法。 花の位置 花の組み方	2
13	技能検定課題	バスケットアレンジメントとの製作 筆記問題	ドーム型に製作。 経過観察をしながら進める。	2
14	技能検定課題	ブートニアの製作 筆記問題	正面 側面 背面すべて気をつける。	2
15	総まとめ	筆記問題 検定課題	合格点を目指す。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			
教科名： フラワーアレン2（実習）		後期	教科担任：齋藤 美英（実務経験教員）	

2025年度 授業計画書 専門学校山形V, カレッジ

学科名：ファッション・プロモート科		コース：FD	2年	単位数：2単位
授業のねらい	フラワーアレンジメントデザイナーの実務経験を活かし、フラワーアレンジメント・コースージュ・ブーケなど日常様々な場面で花を飾り生活をより豊かにする技術を学び習得できるように指導する。		前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H	
目指す検定・資格	目標 取得可能な検定 フラワー装飾技術検定3級		教材費	
テキスト・教材	フラワー装飾技能検定試験テキスト			
評価方法	後期：課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。		その他	
時数	指導内容	指導上の留意点	学習上の留意点	実時数
1	フラワーアレンジメントドームスタイル	360度展開の基本的なアレンジメント、半円形にアレンジする。	ドーム型 水平にする。スパイラルを組むときには花を一つ一つ手前に寝かせながら組む。	2
2	トライアングュラススタイル	復習と応用 三角形、平面的なアレンジメントを製作。	3つのガランドを組み合わせて製作する。 180度～210度展開にする。	2
3	コーススタイル	復習と応用 円錐形のスタイルに製作する。	3つのガランドを組み合わせて製作する。 180度～210度展開にする。	2
4	水平スタイル	復習と応用 水平型のアレンジメント	何処から見ても美しい水平に構成する。360度展開。	2
5	ファンスタイル	復習と応用 扇形アレンジメント	左右対称に製作する。	2
6	クレセントスタイル	復習と応用	三日月型に製作する。主軸が傾かないようにする。	2
7	フラワーアレンジメント フリースタイルデザイン	一方見	カットするときは長め長めにカットする。	2
8	フリースタイル	四方見	作品を全方向から確認しながら作成する。	2
9	フリースタイル	花材の曲線を生かす	花の曲線をよく観察してどのように配するか考える。	2
10	フリースタイル	面をつくる	花材の表面を意識して作成する。	2
11	ブーケ応用 グリーンブーケ リングブーケ	リング状に構成する	持った時のバランスとバックの処理に留意する。	2
12	リースづくり	花輪 木の実を使ってクリスマスのかざり付け。	フリ下げたときの重心に配慮しながらデザインする。	2
13	アレンジメント スタイリッシュツリーコーン	コーンオアシスを使って コーンスタイルの応用	シャープな円錐形になるように面を校正する。	2
14	ブーケ応用 シェイプトムーン	シェイプトムーン	手元に持った時のバランスと展開に注意する。バックの処理に注意する。	2
15	アドベントリースリング	教会で使うリース状の製作。	全体のバランスに注意してまとめる。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

2025年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名： ビジネス実践1（講義）		前期	教科担任：那須 晶子	
学科名：卒年次生		コース：	2年	単位数： 前期 2単位
授業のねらい		1年次に作成したキャリアプランを実現していくために、具体的な就職活動準備を行い、自己実現（内定）を達成する。ビジネス実務は内定を得るためだけではなく、ビジネスマンとして成長するための学習でもある。ビジネスの基本である報告・連絡・相談を身につける。		前期 2H×15W = 30H 後期 合計 30H
目指す検定・資格				
テキスト・教材		1年次使用教材 教材費		
評価方法		後期 試験・課題提出・就職活動状況・出席状況を総合する		その他
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	オリエンテーション	2年次の就職活動心構えと行動 春期休業中の就職活動まとめ	就職活動への意欲を高める	2
2	企業研究	インターネット、企業PR誌等を活用し、目指す業界の企業を知る。	未知企業への視野を広げる	2
3	教養講座	教養講座「社会保険：国民年金について」 自己PR作成	国民年金制度の理解 自分自身を言葉にする	2
4	メールのマナー1	就職活動中のメールの使用についてマナーを知る。	適切な使用を理解し実践する。	2
5	メールのマナー2	就職活動中のメールの使用についてマナーを知る。	適切な使用を理解し実践する。	2
6	電話対応1	電話の基本マナー	受け手・かけ手の基本マナーを再確認する	2
7	電話対応2	状況に応じた電話対応	就職活動を想定する。	2
8	就職試験対策2	文章作成 作文・課題を読んだ意見文	読み手に自分の考えを伝える文書作成を意識する	2
9	就職試験対策3	面接試験での応答	質問の受けとめ、自分の考えを言葉にする難しさを知る	2
10	就職試験対策4	常識問題	得意分野の伸ばし、苦手分野を強化する	2
11	就職試験対策5	自己PRの完成	説得力のある内容に組み立てる	2
12	文書作成	社外文書（内定礼状等）	社外文書様式を知り、礼状作成ができるようになる	2
13	訪問のマナー	一般的な他者訪問	社会生活のマナーとして習得する	2
14	ワーキングアットベンチャー企業研究	事前に企業研究を行い、座談会では受け身ではなく積極的な参加を行う。	自分が知らない企業であっても、大きな出会いとなるチャンスである	2
15	ワーキングアットベンチャー振り返り		企業トップの話から、働くことの意義、喜びを感じ取る	2
その他	7月下旬 模擬面接実施 8月上旬 ワーキングアットベンチャー年間を通じて、就職希望者が全員内定するまで、面談・面接指導を実施 必要に応じて、オンライン面接・個別面接指導を実施 漢字の読み書きを継続実施			

2025年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名： ビジネス実践2（講義）		後期	教科担任：那須 晶子	
学科名： 卒年次生		コース：	2年	単位数： 後期 2単位
授業のねらい		1年次に作成したキャリアプランを実現していくために、具体的な就職活動準備を行い、自己実現（内定）を達成する。ビジネス実務は内定を得るためだけでなく、ビジネスマンとして成長するための学習でもある。ビジネスの基本である報告・連絡・相談を身につける。		後期 2H×15W = 30H 合計 30H
目指す検定・資格				
テキスト・教材		1年次使用教材		教材費
評価方法		後期 試験・課題提出・就職活動状況・出席状況を総合する		その他
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	夏期休暇中のまとめ	長期休暇での活動まとめ これからの活動計画立案	未内定の学生は意欲を保持して活動を継続する	2
2	内定期間中の過ごし方	内定の意味を理解し、学校生活・社会生活全般を意識する	卒業までの期間は学生という立場だけでないことを意識する	2
3	職場の人間関係	公的な場で求められる社会ルール、気遣い	個人的関係、公的関係の違いを知る	2
4	電話応対 3	電話応対の応用 会社への電話 取次	電話機を使うことで緊張感を持つ	2
5	電話応対 4	電話応対の応用 会社への電話 不在時の対応	電話機を使うことで緊張感を持つ	2
6	訪問のマナー 3	アポイントの取り方から訪問	ロールプレーによりイメージを具体的に持つ。	2
7	訪問のマナー 4	名刺交換 お茶の接待・いただき方	ロールプレーによりイメージを具体的に持つ。	2
8	訪問のマナー 4	お茶の接待・いただき方 実践	日常ではお茶を煎れる機会が減っているため、全員実践する	2
9	慶弔 1	冠婚葬祭 慶事と弔事	自分の経験を思い出しながら学ぶ	2
10	慶弔 2	冠婚葬祭 慶事と弔事 祝儀袋・不祝儀袋の書き方	筆ペンを使用し作成する	2
11	慶弔 3	冠婚葬祭 会社の季節行事	次年度からを意識する	2
12	教養講座（卒）	1年生に対し就職活動アドバイスを行う	自経験を後輩への適切なアドバイスを行う。	2
13	就職活動交流会	外部講師による労働・社会保険等講話	労働者としての重要な情報を把握する	2
14	文書作成	季節の挨拶状	年賀等の季節の挨拶状	2
15	1年間の総括	今後の社会人生の目標を考える。		2
その他	年間を通じて、就職希望者が全員内定するまで、面談・面接指導を実施 漢字の読み書きを継続実施			

教科名：ビッグデータマーケティング（講義）		通期	教科担任： 山本絵里子（実務経験教員）		
学科名：ファッションプロモート科		コース：医薬、医療 事務科合同	1年	単位数： 2単位	
授業のねらい		企業運営の経験を活かし、マーケティングについて指導する。物が売れる仕組みを作ることは社会にとって重要なことであり、クライアントからの商品開発やショップマスター、起業を考える上でもマーケティングは重要な基礎知識である。マーケティングの基本からwebの活用、ショップデザインに必要なビジュアルマーチャンダイジング、業界分析をビッグデータやAIを活用した現代的な戦略までを総合的に習得する。		前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H	
目指す検定・資格		目標 ・ なし 取得可能な検定		教材費 Dream、ウレコン登録料	
テキスト・教材		Dreamデータマーケター養成講座初級編 印刷教材 50枚			
評価方法		前期 試験 ・ レポート ・ 課題 後期 試験 ・ レポート ・ 課題		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	マーケティングとは	自分が欲しいものは何？ なぜ、人は買い物をするのか？ ニーズ、ウォンツ、シーズとは 潜在、顕在欲求		問いかけにより経験を話し導入し、身近な課題だということを知らせる。	2
2	プロモーション戦略	FMラジオコンペに向けて本校CM案を作り、放送までの流れを知る ①ラジオCMの特徴と課題の提示		本校を選んだ動機をKJ法、マッピングでまとめる。	2
3		②ラジオCMの実例を知る（プロのアドバイス提示） ③コピー、SE、ナレーションの構成要素 ④放送時間⑤作成 ⑥ブラッシュアップ		事例を多く聞く 声に出して話す	2
4	プロモーション戦略	メディアミックスとは ①ラジオCMとテレビCMの違い			2
5	②テレビ	②本校CM案課題提示、放送までの流れを知る テレビCM絵コンテ作成課題			2
6	マーケティング 3CとはSTPとは	マーケティングの定義を知る。 顧客、競合、自社を知る。 ターゲット、セグメンテーション、ポジショニング		戦略の立案や計画の見通しに必要な知識を得る 市場と顧客の関係を理解する。	2
7	マーケティングミックス	4Pについてそれぞれ詳細に		売れるための仕組みづくりと いうことを理解する。	2
8	消費者心理について	顧客満足度を高めることの重要性を知る。 A I DMAの法則とはAISAS , SHIPS		売るためには顧客を知る。 ネット社会の変化も知る	2
	人の欲求の変化	人の欲求の変化(マズローの欲求の5段階)を知る。			
9	ライフスタイル	消費者分析として購買時期の分析、ライフスタイルがあることを知る。ペルソナイノベーター、オピニオンリーダー、AIO、リーダー、フォロワー、チャレンジャー		人が購入するには	2
10	情報の収集と分析①	マーケティングリサーチ 消費者行動② ライフスタイル分析/マーケティングリサーチ基礎/データ 収集と活用		リサーチから知識に転化する	2
11	競争戦略・差別化 ブランド戦略	自社と競合の分析 SWOT分析/競争地位別戦略 ブランドの定義と役割/ナショナルブランド・プライベート ブランド		競争優位性を理解する	2
12	マーチャンダイジング	マーチャンダイジングの5適を理解		売り上げをあげる工夫	2
13	VMDとPOPデザイン	VMDとは、POPデザインのhow to		実際の店づくりに生かす	2
14		課題商品POP			

15	導入・プロジェクト課題提示	授業全体像／課題提示「売上が落ちた理由をデータで解明し提案せよ」	データから考える習慣を持つ	2
----	---------------	----------------------------------	---------------	---

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

16	データマーケティング 基礎	POS・IDPOS／定量と定性／CRM／DWHなど	顧客データの構造と役割を理解する	2
17	リアルデータ活用①	ウレコンとREASASの基本操作／カテゴリ別・地域別データの見方	実際の市場動向に触れ仮説のヒントを得る	2
18	リアルデータ活用②	ウレコン：商品ライフサイクル分析／REASAS：地域小売業データの可視化	複数データを重ねて考察する視点を持つ	2
19	仮説立案演習	来店数・単価・天候・販促・地域特性などを軸に仮説マップ作成	仮説は具体的かつ検証可能に	2
20	チームで企画共有・設計	仮説共有と分析設計（データ範囲・期間・手法）	他チームの視点も取り入れてブラッシュアップ	
21	データ収集・整形	カテゴリ・客層別加工／売上構成や推移	整形ミスが誤解を生むことに注意	2
22	エクセルハンズオン 散布図と相関	散布図の作り方 ・相関係数の意味 ・相関と因果	散布図を作れる 相関係数を出せる 散布図と相関を講める	2
23	データ活用と各業界	・データの利用といろいろな業界を紹介する。 ・小売をベースに講座が進行しているが、その他の業界でもデータ活用がこれからのマーケティングの基礎になることを知る。 ・フィールドワーク	業界間の関わりや、データ活用について知る	2
24	POSデータ ①	・POSデータとはなにか ・POSデータ分析の重要性 ・〈ワーク〉ロコミサイトとPOSデータ	POSデータとはなにか知る （ワーク：POSデータに興味をもつ）	2
25	POSデータ ②	・POSデータの比較 ・POSデータから見えること	POSデータの着眼点を知る POSデータから考える練習をする（答えを出せなくても良い）	2
26	ID-POSデータ ①	・ID-POSデータとはなにか ・POSデータとID-POSデータの違い ・ID-POSデータから見えること①	ID-POSデータとは何かを知る	2
27	ID-POSデータ ②	・売上げを構成する要素（因数分解）① ・購入率とリピート率 ・リフト値	売り上げをあげるためには数値を分析することから	2
28	外部データの利用	・外部データとはなにか ・気象データの利用 ・〈ワーク&GW〉サンプルデータから商品を確定	（自社データとの対比として）外部データとは何かを知る	2
29	発表準備	プレゼン資料の整備／時間配分／質疑応答練習	聞き手視点での構成を意識する	2
30	成果発表・ふりかえり	チーム発表／講評・自己評価	プロジェクト型学習の総括	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す ・後期評価（試験60点+課題40点）×80%中 課題への取り組み姿勢（20%）／中間発表（20%）／最終成果発表（40%）／個人レポート（20%）			

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名：ネイチャークラフト（実習）		前期	教科担任： 齋藤 美英（実務経験教員）		
学科名：ファッション・プロモート科		コース：	2年	単位数： 2単位	
授業のねらい		工具類を使い幅広くハンドクラフトを学び、技術を身に付ける。		前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H	
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定		教材費 30,000円	
テキスト・教材					
評価方法		前期： 試験 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	クラフトの説明	材料、用具の説明 染色のための用具説明		クラフトの楽しさを知る。	2
2	クラフトの説明	材料、用具の説明 染色のための用具説明		クラフトの楽しさを知る。	2
3	アガパンサスコサージュ	染料説明 染色の仕方		同じ染料でも染める布によって変わることも覚える	2
4	アガパンサスコサージュ	染料説明 染色の仕方		希望色を作れるようにする	2
5	カトレアの枝物	絞りの飛驒の入れ方 着色		ガーゼのハンカチを使って絞りをきかせる	2
6	カトレアの枝物	染料説明 染色の仕方		花びら、葉を1枚ずつ こてで立体的にする。	2
7	なでしこ盆栽	自然に見せる方法		花びら、葉を1枚ずつ こてで立体的にする。	2
8	なでしこ盆栽	コケの置き方		バランスを考え、自然に配置する。	2
9	アートフラワー	糊の作り方 多くの種類の布を使って作成 木綿 ジーンズなど 乾かし方		糊の濃さを調整しつくる。 平らな台、テーブル はけ 手 濡れたタオルを使って貼り付ける。	2
10	アートフラワー 夏の花製作	糊の作り方 多くの種類の布を使って作成 木綿 ジーンズなどの乾かし方		自然にある花を自然に見えるように作成する。	2
11	ガラス器を使った アレンジメント	ガラス器を使った時の土台の作り方と効果的な花材の配しかたを学ぶ		アーティフィシャルフラワーの基本的な扱い方、土台の構成を考える。	2
12	アーティフィシャル スワッグ	つりさげるデザインのバランスのとり方と効果的な花材の配し方を学ぶ		人工的な素材により季節感を演出する。	2
13	アートフラワーとキャンドルを組み合わせる	アーティフィシャルフラワーと異素材の組み合わせによるデザインの幅の広がり学ぶ。		異素材の組み合わせによるデザインに広がりが出ることを体験する。	2
14	アーティフィシャルのヘアドレス	ガーランドによる作品の作り方と身に付けるデザインの機能性を学ぶ。		ガーランドの手法の習得 いかに機能的にデザインするか。	2
15	アーティフィシャルのヘアドレス	ガーランドによる作品の作り方と身に付けるデザインの機能性を学ぶ。		ガーランドの手法の習得 いかに機能的にデザインするか。	2
その他					

他

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名：クラフト（実習）		後期	教科担任：齋藤 美英（実務経験教員）	
学科名：ファッション・プロモート科		コース：	2年	単位数：2単位
授業のねらい		工具類を使い幅広くハンドクラフトを学び、技術を身に付ける。		前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定		教材費 30,000円
テキスト・教材				
評価方法		後期： 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。		その他
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	ラウンドコサージュ①	ワイヤリングテクニックを用いたコサージュの制作	正しいワイヤリングメソッドの習得。	2
2	ラウンドコサージュ②	ワイヤリングテクニックを用いたコサージュの制作	正しいワイヤリングメソッドの習得	2
3	プチアレンジ	ガラスの器グリーンアレンジ	ガラスの器を使った時のベースカバーと花のマッチング。	2
4	クレセントコサージュ①	ワイヤリングテクニックを用いたコサージュの制作	正しいワイヤリングメソッドの習得。	2
5	クレセントコサージュ②	ワイヤリングテクニックを用いたコサージュの制作	正しいワイヤリングメソッドの習得。	2
6	プチアレンジ	多肉を使ったフレームアレンジ	フレームの空間を生かしたデザインバランスの習得。	2
7	リストレット	ワイヤリングテクニックを用いたリストレットの制作	正しいワイヤリングメソッドとガーランドテクニックの習得。	2
8	ボードアレンジ	木製の板をベースにした作品	ベースとのマッチングを考えながら制作する。	2
9	プチブーケ	ワイヤリングテクニックを用いたプチブーケの制作	早く正確なワイヤリングテクニックの習得。	2
10	竹を使ったアレンジ	アーティフィシャルと黒竹を組み合わせた作品	黒竹を使うことで高いプロポーションを美しくデザインすることを学ぶ。	2
11	ミツマタのアレンジ	枝を組み合わせるデザイン	ミツマタを使うことで枝の交差によるデザイン力を養う。	2
12	ガーランドブーケ①	ワイヤリングとガーランドの手法を用いたブーケ	早く正確なワイヤリング、ガーランドテクニックの習得。	2
13	ガーランドブーケ②	ワイヤリングとガーランドの手法を用いたブーケ	早く正確なワイヤリング、ガーランドテクニックの習得。	2
14	ベースから作る アレンジ①	土台から制作し花あしらいまでトータルにデザインする	ベースからデザインすることにより、完成した時の花とのバランスまでイメージする力を養う。	2
15	ベースから作る アレンジ②	土台から制作し花あしらいまでトータルにデザインする	ベースからデザインすることにより、完成した時の花とのバランスまでイメージする力を養う。	2
その他				

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： キャリア実習2（実習）		後 期	教科担任： クラス担任	
学科名：		コース：	2年	単位数： 2単位
授業のねらい	外部組織での就労体験、ボランティア体験等を通し、他者とのコミュニケーション力や、組織内での責任、協調性を学び、就労意欲と職業観を養う。実習前後は、諸手続き・報告を滞りなく実行し、事務力を高める。就職年次は、前年度の課題を改善し、卒業後の職業人としての行動につないでいく。		前期 2H×15W = 30H	
			後期 2H×15W = 30H	
			合計 60H	
目指す検定・資格	特になし		教材費	
テキスト・教材	特になし			
評価方法	後期 所定時間の学外実習 レポート 報告を壮語して評価する		その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	オリエンテーション	年度の実習概要説明 実習目的・実習規程	実習の目的を理解して臨む。卒業年次は、前年度の経験を踏まえ、課題改善に取り組む。	2
2	学外実習	実習前 指定の届け出を行う。 実習 所定の時間数以上を実習する。 実習後 所定報告書の提出		56
3	報告会	全校報告会 他学生に自分自身の実習内容・今後の課題等を報告する	プレゼンテーションのトレーニングの場であるとともに、他者の報告を積極的に傾聴し、自己の課題として共有する。	2
その他				

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名：自主研究 2 (実習)		前期	教科担任：堀川 栄美子		
学科名：ファッション・プロモート科		コース：	2年	単位数：2単位	
授業のねらい		常に広い視野を持ちながら創造性・発展性を養うことを目標に検定受験・研究・開発・制作等を行い、各自の就職に活かせる技能・能力を身に付ける。		前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H	
目指す検定・資格		目標 各自ごと 取得可能な検定		教材費	
テキスト・教材		各自学習内容によってことなる			
評価方法		前期：課題 出席状況、学習態度で評価する。		その他	
時数	単元	授業内容(細目)		学習上の留意点	実時数
1	目標設定	各自目標の設定 研究方法、計画、テーマについて検討する。		目標やテーマについて明確に決めるようにする。	2
2	目標設定	各自目標の設定 研究方法、計画、テーマについて検討する。		方向性を見失わないように3段階に分け目標設定をする。	2
3	各自課題について	各自目標の設定 研究方法、計画、テーマについて検討する。		長期目標を見据えて短期・中期目標を修正する。	2
4	課題について	各自目標の設定 研究方法、計画、テーマについて進める。		長期目標を見据えて短期・中期目標を修正する。	2
5	課題について	各自目標の設定 研究方法、計画、テーマについて進める。		長期目標を見据えて短期・中期目標を修正する。	2
6	各自課題の取り組み	ポイントを抑える 製作課題実習		ポイントをおさえての課題づくり。 (技能検定)	2
7	各自課題の取り組み	各自課題、作業の組み立てについて(技能検定)		各自課題の理解を深め、取り組む 過去問を解く。	2
8	各自課題の取り組み	ポイントをおさえての課題づくり 製作課題実習(技能検定)		各自課題の理解を深め、取り組む 問題点の見直しをする。	2
9	各自課題の取り組み	ポイントをおさえての課題づくり 製作課題実習(技能検定)		各自課題の理解を深め、取り組む 過去問を解く。	2
10	各自課題の取り組み	ポイントをおさえての課題づくり 製作課題実習(技能検定)		各自課題の理解を深め、取り組む 問題点の見直しをする。	2
11	各自課題の取り組み	ポイントをおさえての課題づくり 製作課題実習(技能検定)		各自課題の理解を深め、取り組む 過去問の徹底。	2
12	各自課題の取り組み	ポイントをおさえての課題づくり 製作課題実習(技能検定)		各自課題の理解を深め、取り組む。 問題点の見直しをする。 過去問の徹底。	2
13	各自課題の取り組み	ポイントをおさえての課題づくり 製作課題実習(技能検定)		各自課題の理解を深め、取り組む。	2
14	各自課題の取り組み	ポイントをおさえての課題づくり 製作課題実習(技能検定)		各自課題の理解を深め、取り組む。	2
15	総まとめ 報告	専門技能の習得 達成度の確認 振り返り		総合的な仕上げ 達成度を自己評価する。	2
その他					

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名：自主研究 2 (実習)		後期	教科担任：堀川 栄美子		
学科名：ファッション・プロモート科		コース：	2年	単位数：2単位	
授業のねらい		常に広い視野を持ちながら創造性・発展性を養うことを目標に検定受験・研究・開発・制作等を行い、各自の就職に活かせる技能・能力を身に付ける。		前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H	
目指す検定・資格		目標 各人ごと 取得可能な検定		教材費	
テキスト・教材		学習内容によって異なる			
評価方法		後期：課題 出席状況、学習態度などを総合して評価とする。		その他	
時数	単元	授業内容(細目)		学習上の留意点	実時数
1	目標の設定	各自目標の設定・研究方法、計画、テーマの検討		目標やテーマについて明確に決めるようにする。	2
2	目標設定	各自目標の設定・方法、計画、テーマの検討		方向性を見失わないように3段階に分け目標設定をする。	2
3	各自課題の取り組み	課題、作業の組み立てについて		長期目標を見据えて短期・中期目標を修正する。	2
4	各自課題の取り組み	課題、作業の組み立てについて		長期目標を見据えて短期・中期目標を修正する。	2
5	各自課題の取り組み	各自の課題づくり 製作課題実習		長期目標を見据えて短期・中期目標を修正する。	2
6	各自課題の取り組み	各自の課題づくり 製作課題実習		各自課題の理解を深め、取り組む。	2
7	各自課題の取り組み	各自の課題づくり 製作課題実習		各自課題の理解を深め、取り組む。	2
8	各自課題の取り組み	各自の課題づくり 製作課題実習		各自課題の理解を深め、取り組む。 問題点の見直しをする	2
9	各自課題の取り組み	各自の課題づくり 製作課題実習		各自課題の理解を深め、取り組む。	2
10	各自課題の取り組み	各自の課題づくり 製作課題実習		各自課題の理解を深め、取り組む。 問題点の見直しをする。	2
11	各自課題の取り組み	各自の課題への取り組み 製作課題実習		各自課題の理解を深め、取り組む。	2
12	各自課題の取り組み	製作課題実習		各自課題の理解を深め、取り組む。 問題点の見直しをする	2
13	各自課題の取り組み	製作課題実習		各自課題の理解を深め、取り組む。	2
14	各自課題の取り組み	製作課題実習		各自課題の理解を深め、取り組む。	2
15	まとめ 振り返り	専門技能の習得 達成度の確認		自己評価をする。達成度の確認。	2
その他					

教科名：Illustrator st1.2 (演習)		前期/後期	教科担任：後藤 清彦	
学科名：ファッション・プロモート科		コース：	2年	単位数：2単位
授業のねらい	デジタル作品を手掛けるデザイナーが扱う代表的なドロー系グラフィックソフトである「Adobe Illustrator」の基本操作を学習し、アプリケーションを使用したデザインコンテンツを制作する。制作者の感性を育て、体系的な知識を身につける。現場で生かされる実践的な能力を修得する。	前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H	
目指す検定・資格	Illustratorクリエイター能力認定試験スタンダード		2,860円	
テキスト・教材	We Net IllustratorクイックマスターCC		教材費	
評価方法	前期 課題 後期 課題		その他	
時数	単元	授業内容 (細目)	学習上の留意点	実時数
1	Illustrator機能概要	Adobe Illustratorの機能について	解かりやすい説明を目指すとともに、イラストレーターへの興味を持たせる	2
2	Illustratorの起動・終了	インターフェース、ツールパネル、パネル操作	実際に操作することで、よりイラストレーターに対する興味を深める	2
3	アートワークの表示とプリント、環境設定	アートワーク操作、ナビゲーターパネル、保存、アートボード、用紙設定など	簡単な基本操作を習得することでイラストレーターに対する自信を持たせる	2
4	塗りと線 課題1	塗りと線、先端・角形状、破線、線の複合 イラスト制作	線を描くことでイラストレーターの楽しさを知る	2
5	オブジェクトの描画	長方形や正方形、円、多角形、スターなどのツールの使い方	基本図形を描くことでイラストレーターの楽しさを知る	2
6	基本的な操作	カット&ペースト、コピー&ペースト、移動・複製、前後関係など	オブジェクトの複製や前後関係を実感できるよう留意する	2
7	レイアウトの補助機能	定規、情報パネルとものさしツール、ガイド、スナップ、グリッドツール、整列	複数作成されたオブジェクトの位置関係を把握する方法を身につけさせる	2
8	パスの基本的な描画	パス、直線ツール、円弧ツール、鉛筆ツール、ペンツールなど	イラストレーター操作の必須条件であるパスの操作を確実に習得できるよう指導する	2
9	パスの編集1	パスの追加、アンカーポイントの切り替え・追加・削除、ナイフツールなど	思い通りのパスに編集できるよう学習し、苦手意識を持たせないよう気を付ける	2
10	カラーパネル	グレースケール、CMYK、RGB、HSB	各カラーモデルの特徴を実際にみて理解できるようにする	2
11	スウォッチ、パターン	スウォッチ、グローバルプロセスカラー、スポットカラー、パターン、スポイト	カラーやパターン、スウォッチを登録、管理する方法について確実に学習できるように工夫する	2
12	グラデーション、アピアランス	グラデーション、アピアランス、透明パネル、不透明マスク	様々な効果を学び、より複雑な表現ができる喜びにつながるよう丁寧に指導する	2
13	レイヤー	レイヤーとレイヤーパネル、グループ化、レイヤー間の移動、サブレイヤーなど	複雑なデータを効率的に管理する方法を身につける	2
14	パスの編集2	移動、回転、リフレクト、拡大・縮小、璃シェイプ、シア、スムーズなど	より効率的にパスを変形・編集する方法を知り、イラストレーターを楽しめることを目指す	2
15	オブジェクトの組み合わせ	エンベロープ、クリッピングマスク、複合パス、パスファインダー	複数のオブジェクトを組み合わせて、変形・加工することで様々な表現が出来ることを知る	2

16	文字の作成	文字ツールと文字エリア、パス上文字、フォントの種類	文字ツールの機能を学習し、使用方法を身につける	2
17	文字関連の機能	文字パネル、トラッキングとカーニング、段落パネル、段落スタイル、文字スタイル	文字組によるレイアウトに必要な機能・用語を実践的に身につけられるよう学習する	2
18	イラストレーション(シンボル)	パスファインダーと変形ツール、シンボルの使用方法、ブラシツールなど	様々なツールを駆使できるよう目指す	2
19	イラストレーション(グラデーション)	スポイトツールとグラデーションツール、スウォッチパネルに登録、ブレンドツール	より繊細な立体感や質感を表現するための方法を学ばせる	2
20	イラストレーション(ライブペイント)	トレース、ライブペイント	手書きの線画にイラストレーターで彩色できることを経験させる	2
21	ロゴマーク 1	ペンツールによるトレース、文字ツールでのロゴ作成、バリエーション設計	ロゴマークデザインのプロセスで必要となる基本テクニックを身につけられるよう指導する	2
22	ロゴマーク 2	オリジナルのロゴマークを作成	前回学習したことを生かし、オリジナリティのあるデザインを考えさせる	2
23	タイポグラフィ 1	ナイフツール、パスファインダー、ダイレクト選択ツールなど	いくつかの作例を通して、文字を「絵」として編集し、文字のデザイン化を実感させる	2
24	タイポグラフィ 2	オリジナルのタイポグラフィを作成	前回学習したことを生かし、オリジナリティのあるデザインを考えさせる	2
25	ロゴデザイン(アピアランス)	アピアランスパネル、グラフィックスタイルライブラリなど	アピアランスの仕組みについて理解できるよう指導する	2
26	Webデザイン	カラーモード変更、サイズ変更、Web用保存、ブラウザで確認	Web用画像ファイル形式に保存する方法を学習させる	2
27	グラフの作成	グラフ作成、データ編集、凡例追加など	データ入力からグラフ編集まで基本操作を理解させる	2
28	演習問題	オリジナル作品の作成	これまでの学習を生かし、集大成となる作品の制作を目指す	2
29	演習問題	オリジナル作品の作成	よりハイレベルな作品となるよう個々に対し丁寧な指導を心がける	2
30	演習問題	オリジナル作品の作成	総合的に資格習得レベル到達を目標とする	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

科目名		着付け2(実技)		前期	教科担任：堀川 栄美子		
学科名：ファッション・プロモート科		コース：BC FS KM		2年	単位数：2単位		
授業のねらい		和裁研究所で勤務経験を活かし、着物の核やTPOを理論として指導する。 着物を美しく着るための補正の方法を学ぶ。 着用した後のたたみ方、しまい方、手入れ方法を習得する。			前期	2H×15W=30H	
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定			後期	2H×15W=30H	
テキスト・教材		和装の道テキスト			合計	60H	
評価方法		前期：試験、授業態度、出席状況、道具の準備等を総合して評価する			教材費		
その他					その他		
時数	単元	授業内容(細目)			学習上の留意点		実時数
1	着付の道具	着付に必要な道具について学ぶ。			着付に必要な道具を適切に選ぶ力を身につけ、洋服を着用する時との違いに興味をいだけるようにする。		2
2	着物・帯の種類	着物や帯にどのような種類のものがあるかを学ぶ。			様々な着物、帯の違いを正確に把握できるようにする。		2
3	着物・帯の種類	TPOに応じて、どのような着物、帯を着用するのが、相応しいかを学ぶ。			季節に合う着物、着物の格の違いに興味を持ちながら学べるようにする。		2
4	補正	補正について学ぶ。			体の凹凸を修正する意義について知り、着物と洋服の違いに気づけるようにする。		2
5	補正	自分の体形に合う補正を学ぶ。 補正着を製作する。			タオルコットンをあてて補正をし、美しい体型づくりを身につけられようようにする。		2
6	補正	自分の体形に合う補正を学ぶ。 補正着を製作する。			タオルコットンをあてて補正をし、美しい体型づくりを身につけられようようにする。		2
7	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ(自分で着る)			着くずれを防ぐには、苦しくない着付とはどのようなものかを理解できることに留意する。		2
8	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ(自分で着る)			着くずれを防ぐには、苦しくない着付とはどのようなものかを理解できることに留意する。		2
9	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ(自分で着る)			着くずれを防ぐには、苦しくない着付とはどのようなものかを理解できることに留意する。		2
10	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ(自分で着る) 半幅帯のバリエーションを学ぶ。			着くずれを防ぐには、苦しくない着付とはどのようなものかを理解できることに留意する。		2
11	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ(自分で着る) 半幅帯のバリエーションを学ぶ。			着くずれを防ぐには、苦しくない着付とはどのようなものかを理解できることに留意する。		2
12	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ(人に着せる) 半幅帯のバリエーションを学ぶ。			着くずれを防ぐには、苦しくない着付とはどのようなものかを理解できることに留意する。		2
13	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ(人に着せる) 半幅帯のバリエーションを学ぶ。			着くずれを防ぐには、苦しくない着付とはどのようなものかを理解できることに留意する。		2
14	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ(人に着せる) 半幅帯のバリエーションを学ぶ。			着くずれを防ぐには、苦しくない着付とはどのようなものかを理解できることに留意する。		2
15	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ(人に着せる) 半幅帯のバリエーションを学ぶ。			着くずれを防ぐには、苦しくない着付とはどのようなものかを理解できることに留意する。		2
その他							

教科名：着付け2（実習）		後期	教科担任：堀川 栄美子	
学科名：ファッション・プロモート科		コース：BC FS KM	2年	単位数：2単位
授業のねらい	和裁研究所で勤務経験を活かし、着物の核やTPOを理論として指導する。 着物を美しく着るための補正の方法を学ぶ。 着用した後のたたみ方、しまい方、手入れ方法を習得する。		前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H	
目指す検定・資格	目標 取得可能な検定		教材費	
テキスト・教材	和装の道テキスト			
評価方法	後期：試験、授業態度、出席状況、道具の準備等を総合して評価する		その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	衣紋抜きの製作	衣紋抜きの使い方や作り方を学ぶ。	衣紋抜きの役割を実感し、自装するとき自分で用意できる力を養う。	2
2	長襦袢と半襟	長襦袢に衣紋抜きをつけ、半襟をつける。 半襟の種類を学ぶ。	色々な半襟の種類を学び、着物を着る時の準備ができるようになる。	2
3	長襦袢と半襟	長襦袢に衣紋抜きをつけ、半襟をつける。	色々な半襟の種類を学び、着物を着る時の準備ができるようになる。	2
4	長襦袢と半襟	長襦袢に衣紋抜きをつけ、半襟をつける。 長襦袢の着装を学ぶ。	着物を着る準備ができ、長襦袢を自分で着られるようになる。	2
5	単衣の着物の着装（名古屋帯）	単衣の着物に名古屋帯を結ぶ。	浴衣と単衣の着物、半幅帯と名古屋帯の着装の違いを実感できるようにする。	2
6	単衣の着物の着装（名古屋帯）	単衣の着物に名古屋帯を結ぶ。	浴衣と単衣の着物、半幅帯と名古屋帯の着装の違いを実感できるようにする。	2
7	単衣の着物の着装（名古屋帯）	単衣の着物に名古屋帯を結ぶ。	美しい着付のポイントを着実に身につけられるようにする。	2
8	単衣の着物の着装（名古屋帯）	単衣の着物に名古屋帯を結ぶ。	美しい着付のポイントを着実に身につけられるようにする。	2
9	単衣の着物の着装（名古屋帯）	単衣の着物に名古屋帯を結ぶ。	美しい着付のポイントを着実に身につけられるようにする。	2
10	単衣の着物の着装（名古屋帯）	単衣の着物に名古屋帯を結ぶ。	美しい着付のポイントを着実に身につけられるようにする。	2
11	単衣の着物の着装（名古屋帯）	人に単衣を着付け、名古屋帯を結ぶ	人に着付けるポイントを着実に身につけられるようにする。	2
12	単衣の着物の着装（名古屋帯）	人に単衣を着付け、名古屋帯を結ぶ	人に着付けるポイントを着実に身につけられるようにする。	2
13	単衣の着物の着装（名古屋帯）	人に単衣を着付け、名古屋帯を結ぶ	人に着付のけるポイントを着実に身につけられるようにする。	2
14	単衣の着物の着装（名古屋帯）	人に単衣を着付け、名古屋帯を結ぶ	着付ける相手の気持ちを思いやる着付の仕方を身につける。	2
15	単衣の着物の着装（名古屋帯）	人に単衣を着付け、名古屋帯を結ぶ	着付ける相手の気持ちを思いやる着付の仕方を身につける。	2
その 他				

他

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 和裁構成・製作1（応用）（講義）		通期	教科担任：池田恭仁子（実務経験教員）	
学科名：ファッション・プロモート科		コース：KM	2年	単位数： 2単位
授業のねらい	和裁研究所で勤務経験のある指導者のもと、きものや洋服がいかにして販売されるまでのプロセスを理解し、お客様の心理をよく理解し、うえでの販売の技術を身に着ける。1年時に学識をさらに深めることを目標とする。		前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H	
目指す検定・資格				
テキスト・教材	ファッション販売Ⅱ ファッション販売能力検定試験問題集2級（一般財団法人日本ファッション教育振興協会）		教材費	
評価方法	前期： 試験、授業態度、出席状況を総合して評価する 後期： 同上		その他	
時数	指導内容	指導上の留意点	学習上の留意点	実時数
1	ファッション販売知識	ファッション販売の流れと販売スタッフに求められる資質	販売の形が多様化する中で高まる接客の重要性を理解し、販売スタッフに求められる資質とはどのようなものかを探る。	4
2	ファッション販売知識	販売スタッフの役割	販売スタッフが担う役割について知る。	4
3	ファッション販売知識	販売に必要な情報	販売スタッフに必要な様々な情報について考える。	4
4	ファッション販売知識	顧客づくりの重要性と管理術	顧客づくりの重要性と情報の管理の方法と必要性を学ぶ。	4
5	ファッション販売知識	顧客づくりの重要性と管理術	顧客づくりの重要性と情報の管理の方法と必要性を学ぶ。	4
6	ファッション・マーケティング知識	マーチャンダイジングの知識と実践	マーチャンダイジングの基礎的な知識を身につけるようにする。	4
7	ファッション・マーケティング知識	リテールマーチャンダイジング	ファッション店舗の視点で具体的なリテールマーチャンダイジングについて理解を深める。	4
8	ファッション・マーケティング知識	デジタルマーケティング	ICTを活用したマーケティング活動について理解を深める。	4
9	店舗運営管理	店舗運営管理の基本	店舗運営に関わる業務を学び、そのために必要な知識を蓄える。	4
10	店舗運営管理	店舗係数管理	店舗運営の貴重な資料となる係数の管理方法について具体例を見ながら理解する。	4
11	店舗運営管理	店舗の人事管理 ～スケジュール管理・人事管理の関連法規～	活気ある売り場づくりのためのワークブックづくりや人事管理を円滑にするための労働法などを学ぶ。	4
12	店舗運営管理	店舗の人事管理 ～人材育成・ミーティング～	スタッフ一人ひとりを計画的に育成するための研修の方式などの知識を深める。	4
13	店舗の運営管理	コンプライアンス	企業のコンプライアンスの重要性などについて理解を深める。	4
14	検定対策	過去問題を解いてみる。	問題を解くことによって自分の苦手分野を見つけ、検定に向けて知識の強化を図る。	4
15	検定対策	過去問題を解いてみる。	問題を解くことによって自分の苦手分野を見つけ、検定に向けて知識の強化を図る。	4
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

教科名：和服構成・製作2（応用）（実習）		前期	教科担任：池田恭仁子（実務経験教員）		
学科名：ファッションプロモート 科		コース：KM	2年	単位数：8単位	
授業のねらい		和裁研究所での勤務経験を活かし、1年次に習得した単衣の仕立技術を応用し礼装和服(袷の仕立て)など高度な技術を学び身に付ける。		前期 8H×15W=120H 後期 8H×15W=120H 合計 240H	
目指す検定・資格		和裁技術検定（中級）		教材費	
テキスト・教材		和裁教科書からの抜粋プリント			
評価方法		作品の提出、授業態度、出席状況、実技等を総合して評価		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	大裁女物袷長着（小紋）	自分の寸法にあった袷を仕立てる。 ～裾合わせ裾綴じ		単衣とは違う各部分の仕立てのコツを身に付けられるようにする。	8
2	大裁女物袷長着（小紋）	自分の寸法にあった袷を仕立てる。 ～背綴じ 脇綴じ～			8
3	大裁女物袷長着（小紋）	自分の寸法にあった袷を仕立てる。 ～衿下縫い～			8
4	大裁女物袷長着（小紋）	自分の寸法にあった袷を仕立てる。 ～衿先づくり 衿始末～			8
5	大裁女物袷長着（小紋）	自分の寸法にあった袷を仕立てる。 ～袖付け～			8
6	大裁女物袷長着（小紋）	自分の寸法にあった袷を仕立てる。 ～仕上げ～			8
7	着物の格	振袖 留袖 訪問着 付け下げ 小紋 紬などの相違点を学ぶ。		着物の格の違いを把握し、TPOに合う着物を選べるようにする。	8
8	大裁女物袷長着 振袖 訪問着など	絵羽模様の袷を仕立てる ～寸法 柄合わせ		絵羽模様独特の柄袷の方法を習得する。	8
9	大裁女物袷長着 小紋、無地、紬など	絵羽模様の袷を仕立てる ～標付け		小紋、無地とは違う標のつけ方を習得する。	8
10	大裁女物袷長着 小紋、無地、紬など	絵羽模様の袷を仕立てる ～標付け		絵羽模様の袷各部分の縫製のコツを身につけられるようにする。	8
11	大裁女物袷長着 小紋、無地、紬など	絵羽模様の袷を仕立てる ～袖縫い			8
12	大裁女物袷長着 小紋、無地、紬など	絵羽模様の袷を仕立てる ～袖縫い			8
13	大裁女物袷長着 小紋、無地、紬など	絵羽模様の袷を仕立てる ～袖縫い			8
14	大裁女物袷長着 小紋、無地、紬など	絵羽模様の袷を仕立てる ～袖縫い			8
15	大裁女物袷長着 小紋、無地、紬など	絵羽模様の袷を仕立てる ～表身頃縫い			8
その他					

教科名：和服構成・製作2（基礎）（実習）		後期	教科担任：池田恭仁子（実務経験教員）	
学科名：ファッションプロモート 科		コース：KM	2年	単位数：8単位
授業のねらい		和裁研究所での勤務経験をいかし、基本の運針から始め、和服について必要な理論と実技を学ぶ。 自分の体形にあった着物を仕立て上げる中で、竹田式和裁の着やすく、着崩れしない、丁寧な仕立ての方法を身につける。		前期 8H×15W=120H 後期 8H×15W=120H 合計 240H
目指す検定・資格		和裁技術検定（初級）		教材費
テキスト・教材		和裁教科書からの抜粋プリント		
評価方法		作品の提出、授業態度、出席状況、実技等を総合して評価		その他
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	各種帯の説明 ～名古屋帯を仕立てる	様々な帯の違いを学ぶ。 名古屋帯を仕立てる。	帯の違いを正確に把握し、帯地の地直しの仕方を身につける	8
2	各種帯の説明 ～名古屋帯を仕立てる	様々な帯の違いを学ぶ。 名古屋帯を仕立てる。	帯芯の扱い方や、表地とのつりあい、始末の仕方を身につける。	8
3	紋の種類と縫い方	紋の数や入れ方の違いを学ぶ。 紋付を縫う際の紋の位置や縫い方を学ぶ	細やかな作業を求められる单元なので、根気強く作業できるようにする。	8
4	大裁女物袷長着 振袖、訪問着など	絵羽模様の袷を仕立てる ～寸法、柄合わせ～	絵羽模様独特の柄合わせの方法を習得できるようにする	8
5	大裁女物袷長着 振袖、訪問着など	絵羽模様の袷を仕立てる ～標付け～	小紋、無地とは違う標のつけ方を習得できるようにする。	8
6	大裁女物袷長着 振袖、訪問着など	絵羽模様の袷を仕立てる ～縫い方～	絵羽模様の袷各部分の縫製のコツを身につけられるようにする。	8
7	大裁女物袷長着 振袖、訪問着など	絵羽模様の袷を仕立てる ～縫い方～	絵羽模様の袷各部分の縫製のコツを身につけられるようにする。	8
8	大裁女物袷長着 振袖、訪問着など	絵羽模様の袷を仕立てる ～縫い方～	絵羽模様の袷各部分の縫製のコツを身につけられるようにする。	8
9	大裁女物袷長着 振袖、訪問着など	絵羽模様の袷を仕立てる ～縫い方～	絵羽模様の袷各部分の縫製のコツを身につけられるようにする。	8
10	大裁女物袷長着 振袖、訪問着など	絵羽模様の袷を仕立てる ～縫い方～	絵羽模様の袷各部分の縫製のコツを身につけられるようにする。	8
11	大裁女物袷長着 振袖、訪問着など	絵羽模様の袷を仕立てる ～縫い方～	絵羽模様の袷各部分の縫製のコツを身につけられるようにする。	8
12	大裁女物袷長着 振袖、訪問着など	絵羽模様の袷を仕立てる ～縫い方～	絵羽模様の袷各部分の縫製のコツを身につけられるようにする。	8
13	大裁女物袷長着 振袖、訪問着など	絵羽模様の袷を仕立てる ～縫い方～	絵羽模様の袷各部分の縫製のコツを身につけられるようにする。	8
14	大裁女物袷長着 振袖、訪問着など	絵羽模様の袷を仕立てる ～縫い方～	絵羽模様の袷各部分の縫製のコツを身につけられるようにする。	8
15	技術検定対策	和服地の紋様、裁断の方法について学ぶ。	技術検定中級に対応できるように学習する。	8
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名：洋服構成・製作1（応用）（講義）		前期	教科担任：池田恭仁子（実務経験教員）	
学科名：ファッションプロモート科		コース：FS	2年	単位数：2単位
授業のねらい	和裁研究所勤務での販売実務経験を活かし、ファッションの中心となる洋服がいかんして販売されるまでのプロセスを理解し、お客様の心理をよく理解してうえで販売の技術を身に着ける。1年時に学識をさらに深めることを目標とする。		前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H	
目指す検定・資格	ファッション販売能力検定2級		教材費	
テキスト・教材	ファッション販売Ⅱ ファッション販売能力検定試験問題集2級 一般財団法人日本ファッション教育振興協会			
評価方法	前期 試験、授業態度、出席状況を総合して評価する 後期 同上		その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	ファッション販売技術	お客様に関する知識とコーディネート提案	客別対応のポイントと多様なウェアリング提案への理解を深める。	2
2	ファッション販売技術	服飾雑貨の販売技術	近年アパレルショップで取り扱いが増えている服飾雑貨についての理解を深める。	2
3	ファッション販売技術	クレーム対応	様々なクレームについて具体例をみながら学び、適切な対応方法を身につける。	2
4	ファッション販売技術	衣類のお手入れとお直し	店舗での販売時に可能なお直しの範囲を理解し、適切なお直しの手法を身につける。	2
5	ファッション商品知識	素材の種類と主要アイテム	アパレルショップでの主要アイテムと素材の理解を深める。	2
6	ファッション商品知識	配色の基本技術	ディスプレイや接客に使える配色技術を身につける。	2
7	ファッション商品知識	副資材の知識	アパレル商品に使われる副資材の中から商品部材を中心に学ぶ。	2
8	ファッション商品知識	サイズの知識	サイズの企画と表示方法について理解を深める。	2
9	売り場づくり	市場の変化とVMD 店舗コンセプトの具現化とVMD	近年重要性増すVMDについて具体例を見ながら理解を深める。	2
10	売り場づくり	VMD計画の実施	VMDを実施するための要素と計画性について理解を深める。	2
11	売り場づくり	商品陳列の構成方法とVPとPPで展開する演出方法	店舗での陳列の構成と演出についてその手法の理解を深める。	2
12	売り場づくり	色彩と照明	店舗演出に効果的な配色や分量配分、照明利用の理解を深める。	2
13	売り場づくり	商品分類と売り場構成	売り場での効果的な陳列の数量と技法、ゾーニングの知識を深める。	2
14	売り場づくり	業態別VMDの特徴	業態によって異なるVMDの特徴の知識を深める。	2
15	検定対策	過去問題を解いてみる。	問題を解くことによって自分の苦手分野を見つけ、検定に向けて知識の教科を図る。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名：洋服構成・製作1（応用）（講義）		後期	教科担任：池田恭仁子（実務経験教員）	
学科名：ファッションプロモート科		コース：FS	2年	単位数：2単位
授業のねらい	和裁研究所勤務での販売実務経験を活かし、ファッションの中心となる洋服がいかんして販売されるまでのプロセスを理解し、お客様の心理をよく理解してうえで販売の技術を身に着ける。1年時に学識をさらに深めることを目標とする。		前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H	
目指す検定・資格	ファッション販売能力検定2級		教材費	
テキスト・教材	ファッション販売II ファッション販売能力検定試験問題集2級 一般財団法人日本ファッション教育振興協会			
評価方法	前期 試験、授業態度、出席状況を総合して評価する 後期 同上		その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	ファッション販売知識	ファッション販売の流れと販売スタッフに求められる資質	販売の形が多様化する中で高まる接客の重要性を理解し、販売スタッフに求められる資質とはどのようなものかを探る。	2
2	ファッション販売知識	販売スタッフの役割	販売スタッフが担う役割について知る。	2
3	ファッション販売知識	販売に必要な情報	販売スタッフに必要な様々な情報について考える。	2
4	ファッション販売知識	顧客づくりの重要性と管理術	顧客づくりの重要性と情報の管理の方法と必要性を学ぶ。	2
5	ファッション販売知識	顧客づくりの重要性と管理術	顧客づくりの重要性と情報の管理の方法と必要性を学ぶ。	2
6	ファッション・マーケティング知識	マーチャンダイジングの知識と実践	マーチャンダイジングの基礎的な知識を身につけるようにする。	2
7	ファッション・マーケティング知識	リテールマーチャンダイジング	ファッション店舗の視点で具体的なリテールマーチャンダイジングについて理解を深める。	2
8	ファッション・マーケティング知識	デジタルマーケティング	ICTを活用したマーケティング活動について理解を深める。	2
9	店舗運営管理	店舗運営管理の基本	店舗運営に関わる業務を学び、そのために必要な知識を蓄える。	2
10	店舗運営管理	店舗係数管理	店舗運営の貴重な資料となる係数の管理方法について具体例を見ながら理解する。	2
11	店舗運営管理	店舗の人事管理 ～スケジュール管理・人事管理の関連法規～	活気ある売り場づくりのためのワークづくりや人事管理を円滑にするための労働法などを学ぶ。	2
12	店舗運営管理	店舗の人事管理 ～人材育成・ミーティング～	スタッフ一人ひとりを計画的に育成するための研修の方式などの知識を深める。	2
13	店舗の運営管理	コンプライアンス	企業のコンプライアンスの重要性などについて理解を深める。	2
14	検定対策	過去問題を解いてみる。	問題を解くことによって自分の苦手分野を見つけ、検定に向けて知識の強化を図る。	2
15	検定対策	過去問題を解いてみる。	問題を解くことによって自分の苦手分野を見つけ、検定に向けて知識の強化を図る。	2
その他				

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名：洋裁構成・製作2 (応用)(実習)		前期	教科担任：越尾 薫(実務経験教員)	
学科名：ファッション・プロモート		コース：ファッションデザイン	2年	単位数：8単位
授業のねらい	縫製会社勤務の経験を活かし指導する。基本アイテムの服作りを通して、服飾の専門的な知識と制作技術を習得します。 服飾に関する創造力と感性の開発を目指します		前期 8H×15W=120H 後期 8H×15W=120H 合計 240H	
目指す検定・資格	目標 技能五輪大会出場 取得可能な検定 洋裁技術検定試験(中級)		教材費 15,000円	
テキスト・教材	文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座②③ 技能検定2級受験教材 パターンメイキング教材 パンツ教材 ワンピース教材			
評価方法	前期：課題提出 出席状況 授業態度		その他	
時数	単元	授業内容(細目)	学習上の留意点	実時数
1	パンツ	動作分析 体型観察 採寸 ストレートパンツの作図	服飾造形講座② p 125日常動作と、素材について考える。	8
2	パンツ	パターンメイキング 裁断 仮縫い パターン修正と縫い代整理	p 154 仮縫いによるパターン修正	8
3	パンツ	付属布の裁断 アイロン工程 縫い代しまつ	p 164 本縫いの前工程について	8
4	パンツ	ダーツ ベルト ファスナー ポケット	p 166 あき(ファスナー、ポケット) を美しく作る方法	8
5	パンツ	ベルト付け 仕上げ 工程分析 提出	p 166 ベルト付けの注意点、	8
6	ブラウス	1年生で履修した既製服仕立てのブラウスと、注文服仕立てのブラウスの違いについて学ぶ	ミシンを多様化する既製服と手仕事を多く用いる注文服の違いについて学ぶ	8
7	ブラウス	注文服仕立てのブラウス制作 裁断 アイロン工程 縫い代しまつ ダーツ	縫い代なしパターンを使い裁断する方法	8
8	ブラウス	ポケット作りと縫い付け	中縫い式のアウトポケットをきれいにつける方法	8
9	ブラウス	身頃組み立て 衿と見返し付け 袖(あき、カフス付け含む)	表衿・裏衿を別々につけてきれいに中綴じする方法	8
10	ブラウス	仕上げ(カフス、ポケット口、裾、ラペル奥、衿、前端、袖ぐり) ボタンホール・ボタン付け 肩パット 提出	手作業の工程が多い。 縫い忘れないこと	8
11	ワンピース	シルエット・ネックライン・袖の形態による名称を学び、ワンピース制作を行う(各自履修した原型を使用する)	服飾造形講座③ p 123 ウエスト切り替えのデザイを制作する	8
12	ワンピース	パターンメイキング 裁断	p 164	8
13	ワンピース	身頃組み立て 袖 衿	p 184	8
14	ワンピース	ロングファスナー付け	p 191 ファスナー付けの道具の使い方について	8
15	ワンピース	仕上げ 提出		8
その他				

2025年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名：洋裁構成・制作2 (基礎)(応用)(実習)		後期	教科担任：越尾 薫(実務経験教員)		
学科名：ファッション・プロモート		コース：ファッションデザイン	2年	単位数：8単位	
授業のねらい	縫製会社勤務の経験を活かし指導する。基本アイテムの服作りを通して、服飾の専門的な知識と制作技術を習得します。 服飾に関する創造力と感性の開発を目指します		前期 8H×15W=120H 後期 8H×15W=120H 合計 240H		
目指す検定・資格	目標 技能五輪全国大会出場 取得可能な検定 洋裁技術検定試験(中級)		教材費 5,000円 ※(オリジナル作品の制作に掛かる材料費は含まれません)		
テキスト・教材	文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座④ 文化ファッション大系 服飾造形講座⑥ パターンメイキング教材 ジャケット教材				
評価方法	後期：課題提出 出席状況 授業態度		その他		
時数	単元	授業内容(細目)	学習上の留意点	実時数	
1	ジャケット	原型のダーツ操作 テーラードジャケットの作図	改訂版・服飾造形講座④ p 2 作図の手順	8	
2	ジャケット	パターンメイキング シーチング裁断 仮縫い 補正	p 41 パターンメイキングの注意点	8	
3	ジャケット	パターン修正 裏地付きパターンメイキング 裁断	p 52 p 56 p 60 縫い代・合印の必要性 地直し・裁断の注意点	8	
4	ジャケット	アイロン工程 縫い代しまつ (縫製) 裏地縫い	p 65 p 69 p 74 アイロンの使い方 裏地をきれいに縫う方法	8	
5	ジャケット	ダーツ ポケット 衿 袖の縫い方 アイロンの使い方	p 70 表にあたりを出さない方法・裏地を控えるという考え方	8	
6	ジャケット	肩 脇 袖作り 袖付け 裏身頃の縫い方	p 83 袖山を美しく仕上げる方法	8	
7	ジャケット	肩パットつけ 表身頃と裏身頃を縫い返す	p 82 袖山を美しく仕上げる方法	8	
8	ジャケット	中綴じ 裏袖付け 仕上げ(ボタンホール・ボタン付け含む)	p 86 手まつりのボタンホール	8	
9	ジャケット	工程分析 提出	ジャケットの製作手順を工程表にまとめる	8	
10	オリジナル作品	フォーマルドレスまたはカジュアルドレスの制作 ルデザインによるパターンメイキング	オリジナ	服飾造形⑥応用編(1)	8
11	オリジナル作品	フォーマルドレスまたはカジュアルドレスの制作 デーションを作る	ファン	服飾造形⑥応用編(1)	8
12	オリジナル作品	フォーマルドレスまたはカジュアルドレスの制作		服飾造形⑥応用編(1)	8
13	オリジナル作品	フォーマルドレスまたはカジュアルドレスの制作		服飾造形⑥応用編(1)	8
14	オリジナル作品	フォーマルドレスまたはカジュアルドレスの制作		服飾造形⑥応用編(1)	8
15	オリジナル作品	仕上げ 出提		服飾造形⑥応用編(1)	8
その他	洋裁技術検定試験 初級・中級の作図問題ならびにデザインパターンに関する講義				